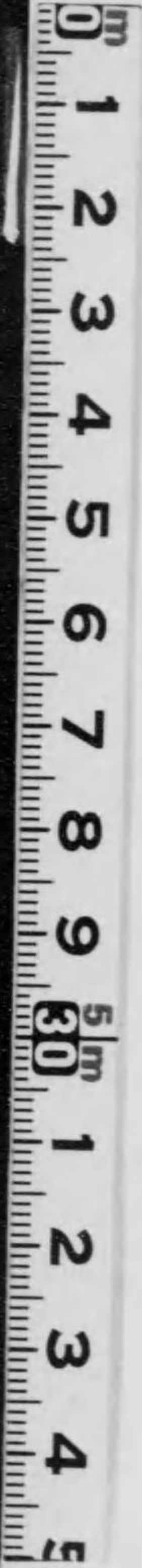


蠶絲業事蹟

14.24

1574



始



大正四年十二月調査

蠶絲業事蹟

三重縣內務部蠶絲課

14.2-157



目次

- 一、桑園改良整理成績……………一頁
- 二、原蠶種製造配付成績……………一七頁
- 三、養蠶成績……………二八頁
- 四、蠶業教育普及成績……………三〇頁
- 五、蠶業取締事務成績……………三四頁
- 六、蠶種冷蔵成績……………四一頁
- 七、製絲業改良成績……………五〇頁
- 八、蠶絲業關係団体……………五八頁

一、桑園改良整理成績

本縣ノ桑園反別ハ逐年増加シ大正三年ニ於テ畑反別ノ三割七歩ヲ占ムルニ至レリ然ルニ桑園ノ實狀ヲ觀察スルニ老齡ニ達シ又ハ肥培管理ノ宜シカラザルタメ荒廢ニ傾ケルモノ尙ホ頗ル多キハ蠶業獎勵上等閑ニ附スベカラザル所ナリ是レ本縣ガ反別ノ増加ヲ圖ラズシテ主トシテ之ガ改良整理ニ力ヲ盡ス所

(イ) 桑園反別并收葉量

年次	桑園反別		計	對畑反別 歩合百分	總收葉量	價額	對一反對桑園 歩收葉高
	立木	刈中、 根刈					
明治四十五年	一、五七三、六	二、二六、五	一、五九六、一	三四二、九	二、〇七、五	二、二二	二、〇三
大正元年	一、三五四、〇	七、七七八、九	九、一三二、九	三五二、八	一、六九三、八	一九九	一、四一〇
大正二年	一、三五四、〇	七、七七八、九	九、一三二、九	三七二、〇	一、九七三、三	二〇二	一、二五九
大正三年	一、三五四、〇	七、七七八、九	九、一三二、九	三三二、〇	二、〇七三、三	二〇二	一、二五九
全	一、三五四、〇	七、七七八、九	九、一三二、九	三三二、〇	二、〇七三、三	二〇二	一、二五九

備考

- 一、桑園反別計大正二年左傍括弧内ノ數字ハ基本調査ニ依ル反別ナリトス
- 二、大正三年ノ對桑園一反歩收葉高ノ減ビシハ同年春季天候不良ノタメ桑葉ノ發育佳良ナラ

正對桑園
大反歩
收葉高
27
内交

ザリシト及春秋蠶期ニ於テ氣候不良ナリシタメ收購量ヲ減シタルニ由ルモノトス

(ロ) 施設事業ノ一、奨励金ノ交付

桑園ノ状態前述ノ如クナルヲ以テ之カ改善方法トシテ明治四十五年大正元年度ヨリ郡市又ハ縣、郡、市農會ニ於テ左ノ事項ヲ行フモノニ對シ補助金ヲ交付スルノ制ヲ設ケタリ

- 一、桑園ノ改植ニ對シ奨励金ヲ交付スルコト
 - 二、桑園品評會其他桑園改良ニ關シ施設ヲ爲スコト
 - 三、桑樹ノ病虫害驅除豫防ニ關シ施設ヲ爲スコト
 - 四、桑園改良ノ方法ヲ指導奨励スル爲テニ技術員ヲ設置スルコト
- 而シテ之カ奨励ニ基キ郡又ハ郡農會ニ於テ施設セル事業、經費豫算并其ノ成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

大正元年度

郡	經費	縣補助額	桑園改植反別	技術員設置數	病虫害驅除反別	桑園品評會試驗桑園出品點數等設置數	其他
桑名	一、二四九、〇〇〇	三三五、〇〇〇	九、六七〇町村	七人	三六五、〇〇〇	二四二	害虫二萬千二百九十三頭買上
員辨	一七五、〇〇〇	七〇、〇〇〇	一、七〇一町村		三三五、〇〇〇	一〇九	
三重	八〇〇、〇〇〇	一九八、〇〇〇	七、四六五町村	二四	二四九、五〇〇		

鈴鹿	河藝	安濃	一志	飯南	多氣	度會	阿山	名賀	志摩	北牟婁	南牟婁	計
二七二、〇〇〇	七四五、〇〇〇	三五八、〇〇〇	三九〇、〇〇〇	一、八四四、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	四四一、〇〇〇	一、四五九、〇〇〇	五七〇、〇〇〇	三五〇、〇〇〇	三八〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	九、四六一、〇〇〇
一一五、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	一五二、〇〇〇	一三三、〇〇〇	四四二、〇〇〇	一一一、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	四二九、〇〇〇	二五八、〇〇〇	一一六、〇〇〇	一六三、〇〇〇	六八、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
七、四六五	九、四六七町村	一〇、四三七	一六、二〇〇町村	一、四七〇	五、五八〇	四九、五八二	一四、二五四	二、一五二町村	二、四五〇九	一、六一一	一五、〇五二五	一、七〇七
二二	二二四	一六八	二八五	六六	二三三	一九九	二二九	六三	二	二	三	三二
				桑苗二萬七千五百本配付				夏秋蠶專用桑園九十六ヶ所ニ對シ奨励金交付				

大正二年度

郡	豫算額	補縣助額	桑園改良	技術員設置數	病虫害驅除反別	桑園品質評會試驗桑園會出品點數等設置數	其他
桑名	一、二八、二〇〇	二四八、〇〇〇	一〇、〇〇〇	五人	町	三三	害虫四萬三千六百八十頭買上
員辨	四四五、〇〇〇	一六一、〇〇〇	五、八七二		町	二二九	
三重	九〇、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	一六、五〇七	三	町	二一九	
鈴鹿	三五〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	六、八〇八		町	三五〇	
河藝	六八五、〇〇〇	一八三、〇〇〇	二、四〇二	三	町	二〇〇、〇〇〇	調査費ヲ支出シテ桑園五百四十七町四反二十九步基本調査ヲ行フ
安濃	四〇七、〇八〇	一三、〇〇〇	一三、四三三		町	二五七、三〇〇	
一志	三九〇、〇〇〇	一一、〇〇〇			町	九六五、〇〇〇	
飯南	一、八七三、〇〇〇	三〇五、〇〇〇	一〇、七〇七	一	町	七八一、七〇〇	桑苗五千本配付
多氣	三三八、〇〇〇	一一、〇〇〇	一四、一五〇		町	二九二	
度會	六六四、〇〇〇	一五五、〇〇〇	三四、四六〇		町	七二	桑苗二十萬六千六百八十五本配付
阿山	一、八九一、〇〇〇	五〇一、〇〇〇	二九、五六二		町	四一九、二〇〇	夏秋蠶專用桑園二百八十九ヶ所ニ對シ獎勵金交付
名賀	二、一四〇、〇〇〇	四七九、〇〇〇	一九、四九八	二	町	二六四	

大正三年度

郡	豫算額	補縣助額	桑園改良	技術員設置數	病虫害驅除反別	桑園品質評會試驗桑園會出品點數等設置數	其他
志摩	二、三三、〇〇〇	七九、〇〇〇	二、〇一〇		町	二一九	
北牟婁	四五〇、〇〇〇	一六八、〇〇〇	二、八一〇		町	二	
南牟婁	一五〇、〇〇〇	五七、〇〇〇	二、五五〇		町	二、〇五七	
計	二、二四、二八〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一九〇、八二二	八	町	三	
桑名	一、二七、四〇〇	三二八、〇〇〇	二七、五〇〇	一人	町	三〇六	十箇所ニ於テ桑樹接木講習會開催、桑種子配付、葉天牛二萬四千六百七十七頭及赤澁病芽五萬七千四百一十一個買上桑園改良委員十三名設置
員辨	五四、〇〇〇	一七三、〇〇〇	二、三四八		町	一一七	
三重	六七〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	二四、六七五	九	町	一一五	
鈴鹿	三五〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	八、五二六		町	二二七	桑枯枝切鋸購入配付
河藝	六七六、〇〇〇	一五二、〇〇〇	一〇、〇〇〇	三	町	六二二	

郡	大正四年度		豫	定	事	業
	經費豫算額	縣費補助額				
安濃	四二一、四三三	一五五、〇〇〇	二〇、〇〇二九	二九、三〇〇〇		桑樹剪枝法改善實行反別四十町二反三畝三步
一志	五〇〇、〇〇〇	二〇一、〇〇〇	三五、三九〇八	三九七、〇〇五		
飯南	二、〇〇二、八〇〇	二二八、〇〇〇	一四、三〇二二	三九七、〇〇五	二一	
多氣	三六六、〇〇〇	一三八、〇〇〇	二二、七〇〇	五九	二、〇〇〇	桑苗圃一町六反一畝十一歩ニ對シ補助金交付
度會	七〇〇、〇〇〇	一九〇、〇〇〇	一九、二六二二	四六四、六〇〇	三九〇〇	八箇所ニ於テ桑接木講習會開催
阿山	一、九二四、五〇〇	四四五、〇〇〇	二一、五〇〇〇	一六六	三、三〇〇	夏秋蠶專用桑園十六町八反八畝二十八歩ニ對シ獎勵金交付
名賀	一、九六一、〇〇〇	三七四、〇〇〇	九、九四一六	一九二	一、〇〇〇	町村農會及青年會設置試驗及模範桑園栽植用トシテ桑苗木二千六百七十本配付
志摩	三六〇、〇〇〇	一一一、〇〇〇	八、七〇〇一	一〇九	二、七〇〇一	
北牟婁	五〇五、〇〇〇	一九三、〇〇〇	八、〇二二			
南牟婁	一六〇、〇〇〇	六二、〇〇〇	四、六三二六	一、一〇九		
計	二二、四一〇、一三三	三、〇〇〇、〇〇〇	三三〇、四一〇九	八四、二九七、四八五		

桑園栽植
見込反別

桑名	員辨	三重	鈴鹿	河藝	安濃	一志	飯南	多氣	度會	阿山	名賀	志摩	北牟婁
九五七、四〇〇	四五五、〇〇〇	六一〇、〇〇〇	四五〇、〇〇〇	六四六、〇〇〇	三八九、四〇〇	五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	三六〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	一、八九二、五〇〇	一、七九六、〇〇〇	五〇四、九〇〇	五二五、〇〇〇
二二九、〇〇〇	一六六、〇〇〇	一四九、〇〇〇	一五五、〇〇〇	一四九、〇〇〇	一四九、〇〇〇	二六、〇〇〇	二六三、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一八五、〇〇〇	五五二、〇〇〇	二二二、〇〇〇	一七五、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
桑園改良整理町村技術員設置、桑園改良委員設置、病虫害驅除豫防、桑園品評會開催、桑樹栽培試験	桑園改良、桑樹栽培試験委託、桑苗木講習會開催、桑苗養成、蠶業同志會補助	桑園改植、病虫害驅除豫防、町村技術員費補助	桑園改植、病虫害驅除豫防、桑園品評會開催	桑園改植、町村技術員設置、病虫害驅除豫防、桑園品評會開催、改良桑園設置	桑園改良整理、病虫害驅除豫防	桑園改植	桑苗木購入補助、技術員設置補助、病虫害驅除豫防	桑園改植、桑園品評會補助	町村技術員費補助、桑苗木配付	桑園改良整理、改良整理事業補助、試驗桑園設置、桑苗接木講習會開催	技術員設置、町村技術員設置補助、桑園品評會開催、試驗桑園設置、桑園改良整理事業補助	桑園改植、桑樹栽培試験并品評會補助、桑苗圃設置	桑園改植、桑園品評會補助、模範桑園設置、桑園試驗
六、八五二五	一五、〇〇〇	一〇、五二九	三〇、五〇〇	二、〇〇〇	六、二二〇	二〇、〇〇〇	二二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	八、〇〇〇	二六、七三四	三三、六四二	三、一三七	八、〇〇〇

南牟婁	一五〇、〇〇〇	六、〇〇〇	桑苗木購入補助	三、〇〇一五
計	二、三四八、二〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇		二、四、五二二

更ニ之ガ累年ノ經費豫算并成績ノ一端ヲ列擧スレハ左ノ如シ

年次	郡及郡農會 經費豫算額	縣費補助	桑園改植反別	備考
明治四十五年	九、四六、四〇〇	三、〇〇〇	一五、〇五五桑園總反別九千六十八町二反步	
大正元年	二、二四、〇〇〇	三、〇〇〇	九千八百五十一町三反步	
大正二年	二、二四、〇〇〇	三、〇〇〇	九千八百五十一町三反步 (但シ基本調査ニ依ルモノ)	
全三年	二、四〇、二〇〇	三、〇〇〇	三〇、四〇九全	九千九百八十町五反步
全四年	二、三四八、二〇〇	三、〇〇〇	(見込) 二、四、五二二全	一萬三百四十五町六反步
計	四五、三四、七三三	一二、〇〇〇	七六、八〇一八	

(ハ) 施設事業ノ一、桑園基本調査并實行計畫

桑園ノ改良整理ヲ完全ニ行ハムニハ桑園荒廢ノ程度ヲ具體的ニ調査シ以テ之カ實行計畫ヲ樹ツルノ緊要ナルヲ認メ大正二年度ニ於テ各郡市ヲシテ左ノ方法ニ準ジ之ガ調査ニ着手セシメタリ

- 一、桑園ヲ一筆毎ニ調査シテ之ヲ甲(善良ナルモノ)乙(改善ヲ要スルモノ)丙(改植ヲ要スルモノ)ノ三種ニ類別シ且其ノ作人及反別ヲ明カニスルコト

二、乙、丙桑園ニ對シテハ改善若クハ改植ノ豫定年度割并其方法ヲ定メ以テ之ガ實行ヲ圖ルコト

三、町村ニ桑園基本調査臺帳及實行臺帳ヲ備ヘテ之ガ實績ヲ明カニシ努メテ其計畫ニ副ハシムルコト

斯クテ本調査ハ大正二年春季ヨリ同三年春季ニ至ル約一ケ年ヲ以テ各郡市之ヲ完了スルニ至レリ而シテ其ノ反別ハ統計ニ現ハレ居ル桑園九千四百十二町七反步ニ對シ四百三十八町六反一步ヲ増加シ總反別九千八百五十一町三反一步ニ達スルヲ見タリ今前記ノ方法ニ依リ之レヲ類別スレハ甲五千六百七十町三反三畝二十四步、乙三千二百二十五町九反六步、丙九百五十一町六反六畝一步トナリ畢竟全桑園ノ四割ニ步ハ當ニ改善改植ヲ要スルモノタルヲ知レリ而シテ之ガ實行年限ハ地方ノ狀況ニ依リ固ヨリ一ナラズシテ改善年數ハ最長十年最短三年改植年數ハ最長七年最短二年ナリ、今之ガ詳細ヲ郡市別ニ掲グレバ左表ノ如シ

桑園基本調査表

郡市	大正二年度 統計反別	基本調査		反別				
		總反別	改善及改植ヲ要 セサル反別	總反別 對歩合	改植ヲ要ス ル反別			
桑名	二五、六〇〇	二七、六〇一八	一六〇、一〇三	六七%	五九、三三六	二五%	一八、二七〇九	〇八%
員辨	五六、〇〇〇	四七、七〇二九	二二七、六三六	四八%	一八七、四三七	四〇%	五七、六三〇六	二二%

市	重	鹿	藝	濃	志	飯	多	度	阿	名	志	北	南	津	四
重	一、〇一八、二〇〇〇	一、〇三八、七〇〇〇	八八〇、一〇〇〇	五三三、三〇〇〇	一、四六五、六〇〇〇	七八一、七〇〇〇	五五五、四〇〇〇	六五一、一〇〇〇	七二七、一〇〇〇	六九八、一〇〇〇	九四、一〇〇〇	七三、四〇〇〇	八八、五〇〇〇	八、三〇〇〇	、一〇〇〇
鹿	一、一三四、九七二五	一、一六六、七五〇四	九七〇、五九〇五	五四七、四〇二九	一、五八七、八三〇七	六八七、一四二九	七四四、三〇〇〇	六四二、六〇一八	七〇〇、二二二二	七二、五二二二	八四、二七七	八三、九五二八	六〇、二五二五	八、三〇〇〇	、一〇〇〇
藝	八四四、一七〇八	四五七、九一〇二	四九八、四八一九	二〇二、六〇〇九	八〇〇、四二四四	五五七、七九〇四	三三四、八八二二	三六八、四五一八	五四六、七四二二	五四〇、九五〇〇	四一、四九〇九	三六、〇七一九	四〇、九二二七	八、三〇〇〇	、一〇〇〇
濃	七四	三九	五一	三七	五〇	八一	四五	五七	七八	七六	四九	四三	六八	一〇〇	一〇〇
志	二〇一、八六一二	五〇一、二二九	三九〇、九七〇四	三〇三、一八〇二	六八七、五二一九	七二、四〇〇五	三五二、八一〇六	二〇四、五八二四	八一、五九〇五	二二、四四三三	二九、二七二二	一八、一八二七	一〇、一三七	、	、
飯	一八	四三	四〇	五五	四四	一〇	四七	三三	二二	一七	三五	二二	一七	、	、
多	八七、九三六	二〇七、六二〇三	八一、一三二二	四一、六二二八	九九、八八二四	五六、九五二〇	五七、六〇二二	六九、五六〇六	七一、八八二六	四八、一一二九	一三、五〇二七	二九、六九二二	九、一九二二	、	、
度	〇八	〇九	〇八	〇六	〇六	〇九	〇八	〇二	〇一	〇七	〇六	〇三	一五	、	、
阿	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
名	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
志	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
北	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
南	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
津	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
四	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

市	重	鹿	藝	濃	志	飯	多	度	阿	名	志	北	南	津	四
重	一〇、四〇〇〇	九、七三〇三	六、六九三三	六九	二、〇一〇〇	二二	一、〇一〇〇	〇九	、	、	、	、	、	、	、
鹿	九、四二一、七〇〇〇	九、八五一、三〇〇一	五、六七三、七三四	五八	三、二五、九〇〇六	三三	九五、六六〇二	〇九	、	、	、	、	、	、	、
藝	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
濃	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
志	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
飯	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
多	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
度	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
阿	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
名	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
志	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
北	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
南	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
津	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
四	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

桑園改良實行年度割一

別スル全反 大正元年 全二年 全三年 全四年 全五年 全六年 全七年 全八年 全九年 全十年 全十一年 年數

市	重	鹿	藝	濃	志	飯
重	五九、三二六	二〇、八六一	五〇、二二九	三九〇、九七四	三〇三、一八〇二	六八七、五二九
鹿	一八七、四二七	二〇、二二九	五〇、二二九	三九〇、九七四	三〇三、一八〇二	六八七、五二九
藝	、	、	、	、	、	、
濃	、	、	、	、	、	、
志	、	、	、	、	、	、
飯	、	、	、	、	、	、

桑園改良實行年度割一

多氣	度會	阿山	名賀	志摩	北牟婁	南牟婁	津市	四日市	宇治山田市	計
三五、八一六	二〇四、五八四	八一、五九〇	二二、四四三	二九、二七一	一八、一八七	一〇、一三七			二〇、〇一〇	三、二五、九〇六
		二六、	三〇〇〇							三〇〇〇
	四一、	一六、	二五、	五、	三、					一八二、
	〇八二、	二六、	〇四三、	二七二、	八六五、					〇九四
	七三、	二四、	六〇〇	七、	三、					六三三、
	七五、	二四、	六〇〇	〇〇〇	八五〇	一五〇二				〇一〇
	二一八	五九〇	六〇〇	〇〇〇	四七二	六五三				一七〇
	七九〇	二四、	六〇〇	九、		四六三				八三六
	〇〇〇	二七、	六〇〇	〇〇〇		四〇三				五〇〇、
	〇〇〇	六、	六〇〇	〇〇〇		四〇三				一五二七
	〇〇〇	八〇四	六〇〇	〇〇〇		四六六				三五四、
	〇〇〇	八〇四	六〇〇	〇〇〇		四六六				八五〇
	〇〇〇	八〇四	六〇〇	〇〇〇		四六六				九四、
	八一六									五三九
										九、
										七二三
										五〇、
										二二三
										五〇、
										一〇〇一
										三
										五
										三
										四
										五
										四
										五
										二
										五
										三

郡市	改植ヲ要スル全反別	大正元年	改植	實	行	年	次	並	反	別	改植
桑名	一八、二七〇		六、三〇六	八、五〇八	一、七〇〇	一、六六五					四
員辨	五、六三〇			一五、二七七	八、〇〇〇	八〇、七一一	五、一九九				七
三重	八七、九三六			一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	八、〇〇〇	一八、〇〇〇	二五、九三六			五
鈴鹿	二〇七、六〇三		一〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五二、六〇三			六
河藝	八、一三三		一〇、〇三三	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二二、一〇〇				五
安濃	四、六二八		五、〇〇〇	六、〇二八	六、二二〇	六、二二〇	六、二二〇	六、二二〇			七
一志	九九、八八四			三三、一〇〇	三三、二〇〇	二〇、〇〇〇	一六、六〇〇	二六、六八四			五
飯南	五、九五〇		一〇、〇〇〇	三三、八〇〇	二四、一五〇						三
多氣	五七、六〇三		二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一七、六〇二						三
度會	六九、五〇六		一九、六七〇	二五、七〇一	二二、〇六二	一、四二三	七〇一〇				五
阿山	七二、八八六	一四、四〇〇	二四、四〇〇	二二、五〇〇	二二、五八六						四
名賀	四八、一二九		二八、〇〇〇	二〇、一二九							二
志摩	一三、五〇七		二、〇〇七	二、五〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇					五
北牟婁	二九、六九二		一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	九、六九二						三

桑園改良實行方法豫定

一、改善

郡市	基本調査桑園全反別		改善ヲ要スル反別		實行年數	實	行	方	法
	數	率	數	率					
南牟婁市	九、一九二					六、六九三		一、八五二	三、〇〇〇
津市									一、八〇六
四日市市									一、六二二
宇治山田市	一、〇一〇〇					四、三〇〇		二、四〇〇	三、五〇〇
計	九、五、六、〇〇一		一、四、四、〇〇〇		一、三、五、	四、四、七		七、六、〇、	三、六、一、
河藝	九七〇、五九五		三九〇、九七〇		五	講習會講話會開催、苗木共同購入獎勵			
鈴鹿	一、一六六、七五四		五〇一、二二九		一〇	深耕并牛馬耕獎勵、株直法改善、病虫害驅除豫防、補植代用海老取			
三重	一、一三四、九七五		二〇二、八六一		五	模範桑園設置補助、病虫害驅除督勵、町村桑園改良委員設置獎勵			
員辨	四七、七〇二		一八七、四四七		四	整枝法指導、夏秋蠶專用桑園設置、苗木立法指導、堆肥綠肥獎勵			
桑名	二、三、七、〇一八		五九、三三六		三	桑園改良講話會開催、苗木購入斡旋			
郡市									

安濃	五四七、四〇二	三〇三、八〇二	七	補助金交付
一志	一、五八七、八三〇	六八七、五二九	五	講習會講話會開催、模範桑園設置獎勵、栽桑法實地指導
飯南	六八七、一四二	七二、四〇五	三	講習會講話會開催、栽桑法實地指導、病虫害驅除督勵、桑園五百貫會設置、綠肥間作獎勵
多氣	七四四、二〇〇	三五、八〇六	六	整枝法指導、桑葉濫採矯弊、綠肥堆肥施用獎勵、病虫害驅除豫防督勵
度會	六四二、六〇八	二〇四、五八四	五	講習會講話會開催、町村技術員設置獎勵
阿山	七〇〇、二二二	八一、五九五	四	改良整理實地指導獎勵、補助金交付
名賀	七二二、五二二	二二二、四四三	五	栽桑法實地指導、模範桑園設置獎勵、桑園品評會開催、町村農會桑園改良技術員設置補助
志摩	八四、二七七	二九、二七一	四	整枝法、耕耘施肥法管理法試驗、模範桑園設置、病虫害驅除豫防
北牟婁	八三、九五八	一八、一八七	三	栽桑法實地指導、模範桑園設置獎勵
南牟婁	六〇、二五五	一〇、一三七	五	講習會講話會開催、桑園改良整理補助
津市	八、三〇〇			
四日市市	一〇〇〇			
宇治山田市	九、七〇三	二、〇一〇	三	枯枝切取用鋸其ノ他改善ニ要スル器具ヲ農會ニ於テ購入貸與ス市農會農事督勵委員並市吏員ヲ派シ督勵監視セシム
計	九、八五一、三〇一	三、二五、九〇六		

二、改植

郡市	基本調査桑園全反別	改植ヲ要スル反別	實	行	方	法
桑名	二二七、六〇二	一八、二七〇	四	講話會開催、苗木購入斡旋、補助金交付		
員辨	四七二、七〇九	五七、六三〇	七	講習會講話會開催、桑苗養成實地講習補助金交付		
三重	一、三四、九七五	八七、九三六	五	補助金交付、改植用苗木仕立獎勵金交付		
鈴鹿	一、六六、七五四	一〇七、六二三	六	補助金交付、自家用桑苗養成獎勵、講習會講話會開催		
河藝	九七〇、五九〇	八一、三三二	五	獎勵金交付		
安濃	五四七、四二九	四一、六二八	七	補助金交付		
一志	一、五八七、八三七	九九、八八四	五	接木苗木木無代配付、町村農會桑苗圃設置費補助		
飯南	六八七、四二九	五、九五〇	三	苗木生産獎勵、桑苗接木實地指導		
多氣	七四、三〇〇	五、六〇二	三	栽植法講話並實地指導、品種一定早生晩生種栽植歩合適良指導、夏秋蠶專用桑園設置等獎勵、試驗桑園設置、補助金交付		
度會	六四二、六〇八	六九、五六六	五	補助金交付、町村桑苗圃設置補助獎勵、苗木共同購入補助獎勵		
阿山	七〇〇、三三三	七二、八八六	四	桑園改良整理指導、補助金交付		
名賀	七二、五二二	四八、一二九	二	栽桑法實地指導、補助金交付、夏秋蠶專用桑園特設獎勵		

二、原蠶種製造配付成績

種別	調査反別	至大正三年度末反別	實	行	歩	合
改善反別		三、二五、九〇六			一、一〇四、九七二	三、四
改植反別		九五二、六〇一			四三五、六三二	四、六
計		四、一七五、六〇七			一、五四〇、六一九	三、七

右ニ對スル實行成績ヲ擧クレハ次ノ如シ

志摩	八四、二七七	一三、五〇七	五	栽桑法實地指導、補助金交付		
北牟婁	八三、九五二	二九、六九二	三	栽桑實地指導、補助金交付		
南牟婁	六〇、二五五	九、一九二	五	補助金交付		
津市	八、三〇〇					
四日市	一、〇〇〇					
宇治山田市	九、七三三	一、〇一〇	三	補助金交付、市農會農事督勵委員并市吏員ヲ派遣シ督勵監視セシム		
計	九、八五一、三〇一	九五、六〇一				

生絲ノ品位ヲ高メ併テ生産費ノ節約ヲ圖ルハ製絲業ノ根本義ニシテ又養蠶業發展ノ源泉タルヘキハ今更言フ俟タサル所ナリ而シテ此ノ目的ヲ達セムニハ繭質ノ改良ヲ魁トセサルヘカラサルヲ以テ明治四十一年三月原蠶種原繭選定會ヲ設ケ縣、郡當該技術員及養蠶、製絲、蠶種製造者中ノ經驗アル者ニ委員ヲ囑托シテ原蠶種ノ選定及種繭ノ審査ヲ行ハシメ縣立農事講習所ニ原蠶種部ヲ設ケ之カ製造配付ヲ行フノ制ヲ定メタリ而シテ當初ハ有償配付ナリシモ同四十三年度ヨリ無償配付ノ制ニ改メ以テ之カ普及ノ便ヲ圖レリ今四十一年ヨリ四十四年ニ至ル經費豫算並之カ製造配付成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

年次	經費豫算額	季別品種名		原蠶種製造額	全上計	配付額	人員	全上計	人員	備考
		春	秋							
明治四十一年		又昔一號 青 四〇、六八四	又昔二號 青 四、九五一	四〇、六八四	四、九五一	二、二六八	八九	四二、九五二	九	經費ハ農事講習所一般經費ヨリ支出シテ特ニ原蠶種製造費トシテ計上セズ
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	本所掃立用ノ蠶種ハ本表以外ノ數量ニ屬ス以下同シ
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	農事講習所費中原蠶種製造費ヲ計上セルモ桑園費職員給料試驗費ハ一般所費ヨリ支出セルヲ以テ之ヲ包含セズ以下同シ
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	
全四十二年	一、四四九、〇〇〇	又昔一號 青 四六、五五四	又昔二號 青 九、八〇〇	四六、五五四	九、八〇〇	四六、五五四	二五	五〇、一七六	八	

全四十四年	一、四一、〇〇〇	春	秋	全上計	人員	備考
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	
全四十四年	一、四一、〇〇〇	又昔一號 青 三九、七三三	又昔二號 青 七、四七六	三九、七三三	七九	

縣内蠶種製造者ノ掃立量ハ年ニ因リ固ヨリ一ナラサルモ前記四年間ノ平均貳拾參萬蠶ニ對シ配付蠶數平均ハ二割二歩ニ過キササルモ其ノ系統蠶種ハ漸次普及シ養蠶家掃立ノ約七割ヲ占ムルニ至レリ而モ時勢ノ要求ハ尙ホ之ニ甘ンセス原蠶種制度ノ改善ヲ要スルコト切ナルヲ以テ明治四十五年度ヨリ原蠶種製造所ヲ特設シ尙ホ郡部ニ補助金ヲ交付シテ樞要ナル箇所ニ之カ設置ヲ促シ以テ縣立原蠶種製造所ト相俟テ優良蠶種ノ選出及之カ普及ヲ圖ラシムルノ制ヲ設ケタリ爾來大正三年度迄ニ設置セル原蠶種製造所及經費豫算並ニ之カ成績ノ概要ヲ掲クレハ次表ノ如シ

明治四十五年
大正元年度

縣立原蠶種製造所 (四五)	經費豫算額	補助額	季別品種名		原蠶種製造額	全上計	配付額	人員	全上計	人員	備考
			春	秋							
縣立原蠶種製造所 (四五)	七〇七、〇〇〇		又昔一號 青 三、九八八	又昔二號 青 二、九六〇	三、九八八	二、九六〇	二一、〇二八	二一五	二六、九三六	二七	經費中ニハ原蠶種監督費金七拾圓貳拾錢及地方種繭審査會費金參百八拾五圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム
三重郡立原蠶種製造所 (四五)	〇七、一四〇、〇〇〇	〇六、〇〇〇	又昔一號 青 七、三七	又昔二號 青 八、一四三	七、三七	八、一四三	六、一〇四	二〇	六、六六四	二〇	經費中ニハ臨時費金貳千九百六拾貳圓四拾錢ヲ含ム

計	鈴鹿郡		員辨郡		阿山郡		一志郡		種製造
	所種立	所種立	所種立	所種立	所種立	所種立	所種立		
三、九〇、九〇一	二、五二、二五〇	二、四九、〇〇〇	二、五二、二五〇	二、四九、〇〇〇	二、五二、二五〇	二、四九、〇〇〇	二、五二、二五〇	〇七、〇八五	
五、〇〇、〇〇〇	三、三五、〇〇〇	六、七五、〇〇〇	三、三五、〇〇〇	六、七五、〇〇〇	三、三五、〇〇〇	六、七五、〇〇〇	三、三五、〇〇〇	五、〇〇、〇〇〇	
原種蠶	原種蠶	特別蠶	原種蠶	特別蠶	原種蠶	特別蠶	原種蠶	全	
秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
大青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	
一、八〇〇	一、一八〇	一、一八〇	一、一八〇	一、一八〇	一、一八〇	一、一八〇	一、一八〇	三、八三七	
五、七四二	二、三八八	四、一六六	二、二九六	三、九四〇	二、一五三	七、四〇五	七、四〇五	三、三八八	
一、五九六	一、〇〇一	一、五九六	二、〇四四	二、一八二	一、四五六	七、一八〇	六、八三二	一九	
一、〇二二	七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	六、八三二	
五、〇九六	二、二一五	三、六四〇	一〇	三、八九二	一、四五六	一、七六四	二〇	拾錢ヲ含ム	
三	拾五錢ヲ含ム	一〇	拾五錢ヲ含ム	一〇	拾五錢ヲ含ム	一〇	拾五錢ヲ含ム	拾二錢五厘ヲ含ム	

計	阿山郡農會立		一志郡農會立		種製造
	所種立	所種立	所種立	所種立	
九〇七、七〇〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	六八、五三〇	九三、〇〇〇	〇七、〇八五
五〇〇、〇〇〇	五三、〇〇〇	五三、〇〇〇	九三、〇〇〇	九三、〇〇〇	五、〇〇、〇〇〇
原種蠶	原種蠶	原種蠶	原種蠶	原種蠶	全
秋	春	秋	春	秋	秋
青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號
一、九〇五	七、八九九	三、三五六	三、三五六	八、〇三四	三、八三七
八〇、三九四	三〇、九〇〇	二〇、三八八	二、三八〇	一一、三九一	三、三八八
一、五三七	六、五五四	二、二二二	二、二二二	八、七六四	一九
一、〇二二	二、二一五	一〇	一〇	二〇	六、八三二
五、〇九六	三、六四〇	一〇	一〇	一〇	拾錢ヲ含ム
三	拾五錢ヲ含ム	一〇	拾五錢ヲ含ム	一〇	拾二錢五厘ヲ含ム

大正二年度

計	三重郡		縣立蠶種製造所		種製造
	所種立	所種立	所種立	所種立	
〇七、〇八五	〇四、〇〇〇	〇四、〇〇〇	〇四、〇〇〇	〇四、〇〇〇	〇七、〇八五
五、〇〇、〇〇〇	—	—	—	—	五、〇〇、〇〇〇
原種蠶	原種蠶	原種蠶	原種蠶	原種蠶	全
春	秋	春	秋	春	秋
青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號	青熟二號
一、四〇〇	七、三三五	二、三六四	二、三六四	二、三六四	三、八三七
一、七五七	二、八四九	一、八七八	一、八七八	一、八七八	三、三八八
一、三三三	六、五五二	四	四	四	一九
一、〇二二	二、二一五	一〇	一〇	一〇	六、八三二
五、〇九六	三、六四〇	一〇	一〇	一〇	拾錢ヲ含ム
三	拾五錢ヲ含ム	一〇	拾五錢ヲ含ム	一〇	拾二錢五厘ヲ含ム

110

縣立原蠶製造所 (四五)	三重郡立原蠶製造所 (四五)	農會立原蠶製造所 (四五)	阿山郡農會立原蠶製造所 (四五)	一志郡農會立原蠶製造所 (四五)	所製蠶種 (四五)	品種名	製造額全上計	配付額		備考
								人員	全上計	
原蠶種 一二七、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金參千九百八拾五圓及原蠶種監督費金千七拾圓參種四錢並地方補助費會費金參百八拾五圓四拾錢ヲ含ム
特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金七百貳拾圓九拾七錢ヲ含ム
原蠶種 七五九、八五〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金七百四拾五圓ヲ含ム
原蠶種 四八八、三〇五	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金七百四拾五圓ヲ含ム

大正三年度

員辨郡立原蠶製造所 (一一)	鈴鹿郡立原蠶製造所 (一一)	河藝郡立原蠶製造所 (一一)	計	品種名	製造額全上計	配付額		備考
						人員	全上計	
原蠶種 一、〇〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金四千三百四拾五圓ヲ含ム
特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金四千三百四拾五圓ヲ含ム
原蠶種 一、〇〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	原蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金四千三百四拾五圓ヲ含ム
特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	特別蠶種 五〇〇、〇〇〇	又昔熟 清一號 青熟 清二號 青熟二號	一六、二六八 三、九七九	一三、五二四 四、九二八	四七 三六	經費中ニハ臨時費金四千三百四拾五圓ヲ含ム

大正四年度

豫算額	縣補助額	蠶種別	季別	品名	製造額	全上計	備考
七、二七、〇〇〇		原蠶種	春 秋	青一號 青一號 青一號 青一號	一六、六三二	三、九六〇	經費中ニハ原蠶種監督費金千七拾圓參拾四錢及地方種蠶審查會費金參百八拾五圓四拾錢ヲ含ム
		特別蠶種	夏 春	佛一號 佛一號 佛一號 佛一號	六、三三八	二、九六〇	
一、五〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	原蠶種	春 秋	又昔熟 又昔熟 又昔熟 又昔熟	三、九七〇	六、二五五	
		特別蠶種	春 秋	青五洲 青五洲 青五洲 青五洲	二、二八五	四、四一四	
		特別蠶種	春 秋	又昔熟 又昔熟 又昔熟 又昔熟	一、四三三		

一志郡農會立原蠶種製造所 (四五)	阿山郡農會立原蠶種製造所 (四五)	原蠶種	特別蠶種	原蠶種	特別蠶種	原蠶種	特別蠶種
一〇八〇、〇〇〇	一、三九六、八六〇	原蠶種	特別蠶種	原蠶種	特別蠶種	原蠶種	特別蠶種
五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	原蠶種	特別蠶種	原蠶種	特別蠶種	原蠶種	特別蠶種
春 秋	春 秋	春 秋	春 秋	春 秋	春 秋	春 秋	春 秋
青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號	青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號	青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號	青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號	青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號	青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號	青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號	青熟一號 青熟一號 青熟一號 青熟一號
五、三三三	九、二五六	一、二八九	二、八四七	一、二八九	二、八四七	一、二八九	二、八四七
六、五〇二	一七、九四三	四、〇六五		六、〇四一		一、九〇〇	

員辨郡立 原蠶種製 造所 (一)	鈴鹿郡立 原蠶種製 造所 (二)	河藝郡立 原蠶種製 造所 (三)	安濃郡蠶 種同業組 合立原蠶 種製所 (四)		計	
			特別蠶種	原蠶種	特別蠶種	原蠶種
一、九二、〇〇〇	一、〇六、〇七〇	一、〇一、〇〇〇	五、一七、八五二	五、〇〇、〇〇〇	五、一七、八五二	五、〇〇、〇〇〇
特別蠶種	原蠶種	原蠶種	特別蠶種	原蠶種	特別蠶種	原蠶種
秋 春 秋	秋 春	秋 春	秋 春	秋 春	秋 春	秋 春
五、大洲	國富、青熟 又昔、又昔、 黃石丸 三龍又 三河錦 國富	青熟 昔熟 青熟	長白龍 赤熟、又昔、 赤熟、清一號、 赤熟、掛合清一號	青熟 昔熟 青熟	五、六八三 二五、七五二 一六、八五八 一、五四三 三、九三四	七、四三五 二、八四四 二、〇〇三 二、八四五 三、〇七〇
一、二五六	八、九五四	二、八四四	二、〇〇三	二、八四五	二、〇〇三	二、八四五
原蠶種特別蠶種共秋期分ハ 検査未了ニ付不合格數ヲモ 含ム			經費中ニハ臨時費金四千七 拾圓八拾五錢ヲ含ム			

原蠶種製造所ハ如上縣立一、郡立四、郡農會立二、郡蠶種同業組合立一、計八ヲ算スルニ至レリ今大
 正三年度ニ於テ製造配付セル蛾數ヲ縣内蠶種製造者ノ掃立蛾數二十七萬蛾ニ比スルニ僅カニ二割八歩
 ニ過キス前途尙多數ノ製造配付ヲ要スルヤ勿論ナリ然レトモ此ノ種ノ事業タル急進ヲ望ムハ頗ル難ク
 況ンヤ未タ研究中ニ屬スル事項亦尠ナカラサルニ於テオヤ加フルニ輓近外國種糸蠶種ノ呼聲高ク益々
 品種ノ複雑ヲ告クルモノアルヲ以テ縣、郡原蠶種製造所ハ能ク聯絡ヲ保チ極力地方ニ適切ナル優良蠶
 種ノ選出ヲ圖ルハ目下ノ急務ナリトス換言スレハ時勢ノ要求ハ原蠶種ノ配付ヲ行フト共ニ經費ノ許ス
 範圍ニ於テ試験研究ニ力ヲ注カサルヘカラサル時機ニ逢着セルモノト云フヘシ而シテ前表縣、郡原蠶
 種製造所ニ於テ特別蠶種ノ配付ヲ行フハ優良種選出ノ爲メ試験的ニ當業者ニ飼育セシメ其ノ成績ヲ綜
 合シテ之カ決定ニ資セントスルニ外ナラス縣下ニ於ケル外國種糸蠶種ノ掃立ハ未タ多カラサルモ其ノ
 増加率ノ大ナルハ能ク本事業ノ切要ナルヲ窺ヒ知ルニ足ルヘシ即チ左ノ如シ

年次	蠶種		外		國內		外		國內		
	掃立總數	收繭總額	掃立數	收繭額	掃立總數(對歩合)	收繭總額(對歩合)	種別	掃立數	收繭額	掃立數	收繭額
明治四十五年	二五、三八一	一三六、一七二	一〇三	一四一	一	一	白繭種	一〇三	一四一	一	一
大正二年	二〇、三九五	一三三、八六二	九二九	一、三三八	八	一〇	白繭種	七七八	一、〇一〇	二	六
全三年	二一九、〇四六	一二五、六八三	二、二八三	三、四九七	一九	二八	白繭種	一、五九九	二、三五八	一三	一九
全四年	一三三、四九六	一五五、九三二	六、一三二	八、四一〇	九五	二七	白繭種	六、六二〇	九、〇八〇	五〇	五八
大正元年	見做シタル大正四年ノ割	二	一一、三五	一、二九三	九五〇	一、一七〇	白繭種	五、九九三	九、一六〇	四五	五九
大正元年	見做シタル大正四年ノ割	二	一一、三五	一、二九三	九五〇	一、一七〇	黃繭種	五八二	六五〇	四五〇	五九〇

三、養蠶成績

養蠶業ハ晩近著シク發達シ大正三年度ニ於テ繭產額十二萬五千餘石價額五百五拾七萬九千餘圓ヲ算シ農家副業ノ首位ヲ占ムルニ至レリ今之カ進步ノ蹟ヲ索ヌルニ過去十箇年ニ於テ掃立枚數八割ノ増加ニ

對シ收繭量ハ二倍ニ上リ蠶種一枚ノ產繭二割七歩桑園一反歩ノ產繭三割六歩ヲ増スニ至レリ即チ次表ノ如シ

年次	桑園反別	農家戸數	養蠶戸數	掃立枚數	收繭		蠶種一枚對收繭額	農家百戸對養蠶戸數	對養蠶家一戸收繭額	桑園一反歩對收繭額
					數量	價額				
明治三十八年	六、〇九九	九、三三〇	三、八五七	六六、一八六	五四、六二二	〇、九七	八五二	三一	二、二〇四	八九六
全三十九年	六、三〇	九、三三二	三、四、五五	六八、四二二	六〇、五三二	七、六九	八八五	二八	二、三八八	九六〇
全四十年	六、八三	四、四三	三、九、三三	八四、八五五	八三、八七四	四、七五	九九一	三二	二、八八三	一一、三二
全四十一年	七、四八七	三、一五、六〇二	三、九、九一八	九三、三三九	九四、二九四	三、八五	一、〇一〇	三五	三、一一二	一、二五九
全四十二年	八、二七、五二〇	一、八八	三、九、〇四九	九一、〇〇四	九〇、六六三	八、二二	一、一〇六	三六	三、三七五	一、二九九
全四十二年	八、五八、七二〇	一、三三	四、〇、六九七	一〇三、二七二	一〇三、二七二	八、五八	一、〇三二	三七	三、四四三	一、二四九
全四十四年	八、七三七	三、二四	三、四、四三	一〇四、七〇二	一〇四、七〇二	八、五八	一、〇三二	三七	三、七五四	一、四五二
全四十五年	九、〇六八	三、〇九、七二	四、九、七四二	一二五、三三二	一二五、三三二	一、〇八五	一、〇八五	四一	三、八八〇	一、五〇二
大正元年	九、四二、七二〇	四、四八	四、九、四二二	一三〇、三九五	一三〇、三九五	一、〇九四	一、〇九四	三九	三、九五三	一、四一一
全二年	一〇、三四五、六二〇	七、八一	四〇、七三六	一、九〇、四六二	一、八八三	五、七九	一、〇五九	三七	三、〇八五	一、二二五
全三年	一七〇	八九	一〇六	一八〇	二二〇	二六六	二二七	二九	一、四〇〇	一、三六

今從來ニ於ケル獎勵事項ヲ舉クレハ 一、蠶業教育機關ヲ設ケテ農家子弟ニ斯業ニ關スル學術技藝ヲ習得セシメ 二、各郡ニ蠶業專任ノ技術者ヲ設置シテ指導獎勵ヲ圖リ 三、桑園ノ改良整理ヲ圖リテ桑葉ノ生産費ヲ節減セシメ 四、優良蠶種ノ普及ニ努メテ繭質ノ改善ニ資シ 五、蠶種冷蔵事業ヲ助成シテ夏秋蠶種製造ノ發達ヲ促シ 六、養蠶組合ノ設置改善ヲ獎メテ當業者ノ福利増進ヲ圖ル等其ノ主ナルモノニシテ各獎勵事項ハ何レモ相俟テ如上ノ成績ヲ現ハスニ至リシナリ

四、蠶業教育普及成績

本縣ニ於ケル蠶業教育ハ明治十九年三月度會郡小俣村明野勸農場内ニ養蠶傳習所及座繰製絲傳習所ヲ設置シタルヲ以テ濫觴トス當時ノ蠶業ハ頗ル幼稚ニシテ縣内ノ收繭額僅ニ二千八百十四石蠶絲產額二千七百四十七貫匁ニ過キサリキ之ヲ現今ノ收繭十萬餘石蠶絲十萬餘貫匁ニ比スレハ殆ント霄壤ノ差アリ而シテ同所傳習生ノ修業年限ハ三ケ年ニシテ養蠶家十八名製絲科二十四名ヲ各郡ニ配當募集入所セシメタリシモ修業生ヲ出ス僅ニ一回ニシテ同二十一年ニ至リ座繰傳習所ヲ廢シ翌二十二年養蠶傳習所ヲ蠶業講習所ト改稱シ授業期間ヲ六ケ月トセシカ同二十三年四月全ク之ヲ廢止シ明野勸農場ヲシテ養蠶業ヲ經營セシメタリ斯克ノ如ク存續年數僅ニ四ケ年ニ過キサリシモ這般教育機關ノ設置ハ頓ニ蠶業ノ勃興ヲ促シ同二十四年ニ於テハ收繭一萬三百五十三石蠶絲八千六百六十一貫匁ヲ產スルニ至レリ越テ

二十九年二月再ヒ同場内ニ明野高等養蠶傳習所ヲ設置シ傳習生定員ヲ三十名トシ之ヲ甲乙二種ニ別チ甲ヲ五ケ月乙ヲ二ケ月トシ蠶業ニ關スル學理及實務ヲ傳習セリ是即チ農事講習所ノ前身ナリトス同二十二年一月名稱ヲ三重縣明重農事講習所ト改メ二月規則ヲ改正シテ本科及豫科ヲ設置シ期間ヲ各六ケ月ニ延長シタリ同年十二月更ニ三重縣農事講習所ト改稱シ三十四年十二月講習規程ヲ改メ傳習生定員三十名ヲ三十五名トシ四十年一月豫科ヲ廢シテ新ニ女子講習科ヲ設ケ定員ヲ三十名期間ヲ二ケ月半トシ女子ニ對シ蠶業ノ課程ヲ學習セシムルコト、セリ次テ四十一年五月更ニ規程ヲ改正シテ本科ヲ男子講習科ト改メ女子講習ノ程度ヲ進メテ期間ヲ六ケ月トシ尙十二月ニ至リ男子講習科ノ學期ヲ一ケ年ニ延長シ以テ今日ニ至レリ其ノ他同講習所ハ三十年ニ於テ蠶種検査法ヲ、卅四年ニ於テ蠶病消毒法ヲ講習シ努メテ蠶業教育ノ普及ヲ圖レリ今此ノ年間ニ於ケル經費豫算并修業生員數ヲ舉クレハ左ノ如シ

年次	經費豫算額	男子講習科(本科)	女子講習科(豫科)	蠶種検査法講習	蠶病消毒法講習	女子講習科	計	備考
明治二十九年	二、一八九、三〇〇	一六	九				二五	經費ハ明野勸農場費中ヨリ支出内詳不詳
全 三十年	二、四〇八、七三二	一九	四	五			六八	
全 三十一年	三、三五五、四六一	三	五				二七	
全 三十二年	二、七六、六四二	二〇	五				二五	

全	三十三年	三、四〇六、二二二	二八						三〇	經費ハ明野農事講習所費
全	三十四年	三、二七七、〇一一	二六						九	經費ハ臨時費ヲ含ム
全	三十五年	四、一七一、二二五	三二						九	經費ハ農事講習所費
全	三十六年	四、五二四、五六五	二六						三	臨時費ヲ含ム
全	三十七年	四、一五、一五〇	二二						三	臨時費ヲ含ム
全	三十八年	四、〇九九、二五〇	二七						三	臨時費ヲ含ム
全	三十九年	六、〇五一、七二六	三三						三	臨時費ヲ含ム
全	四十年	七、四七〇、八七六	三三						三	臨時費ヲ含ム
全	四十一年	一八、四九九、〇〇〇	三三						三	經費ハ農事講習所費
全	四十二年	一八、七四七、〇〇〇	三二						三	但シ原蠶種製造費ヲ含ム
全	四十三年	一八、四五五、〇〇〇	三五						三	全
全	四十四年	一三、〇八五、〇〇〇	三四						三	全
全	四十五年	九、一七二、〇〇〇	三四						三	臨時費ヲ含ム
大正	元年	八、一〇三、〇〇〇	三三						三	全
全	二年	七、三〇四、〇〇〇	三四						三	全

全	四年	七、四三七、〇〇〇	三三						三〇	
計			五六八	五五	五五	七〇	二六四	一、〇一一	六三	

備考 明治十九年ヨリ同二十三年ニ至リ設置セル傳習所ニ關スル經費ハ特別會計ニ屬スル勸業資
金ヨリ支出セルモ其ノ額不詳ナリ

斯クノ如ク教育機關創設以來大正四年ニ至ルノ間ニ於テ千有餘名ノ修業生ヲ出スニ至レリ而シテ是等
ノ修業者ハ他府縣及本縣内ニ於ケル縣郡村蠶業技術員ニ、蠶業取締吏員ニ、蠶種検査吏員ニ、又ハ養
蠶教師等ノ職ニ就キ或ハ自家ニ於テ蠶業ヲ經營スル等直接間接ニ蠶絲業ノ啓發ニ貢献シツ、アリ今大
正四年ニ於ケル就職者ノ員數ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 短期養蠶教師 九十一人
- 縣郡蠶業技術者 十二人
- 村蠶業技術者 十五人
- 蠶業取締吏員并蠶種検査吏員 百八十七人
- 計 三百〇五人

其ノ他明治卅九年以降蠶業講習會、屑繭整理講習會等ヲ各都市ニ開催セシメ家事上學習ニ暇ナキ者ニ
對シ短期間ニ學理ノ大要ヲ會得セシメツ、アリ而シテ蠶業講習會ハ之ヲ甲乙二種ニ別チ甲種ハ二週間

以上ノ期間ニシテ縣ヨリ講師ヲ派遣シ乙種ハ一週間以上ニシテ郡農業技手講師ノ任ニ當リ又屑齋整理講習會ハ二週間以上ニシテ農事講習所製絲技手主トシテ之カ指導ノ任ニ當リ是等各種ノ講習ヲ受ケタル者大正三年迄ニ累計二萬九千三百二十二人ニ達シ斯業發展上又尠ナラサル効果アルヲ認ム

五、蠶業取締事務成績

蠶業取締事務ノ廣汎ニシテ複雑ナルハ今更言フ俟タサルモ明治四十五年蠶絲業法施行以來蠶種製造及蠶種冷蔵業ヲ免許業トシ蠶種検査手数料ヲ徵收シ或ハ不化蛹繭ノ賣買禁止、蠶種行商者及生繭賣買業者ノ取締其他地方種繭審査會ニ關スル事務等著シク繁劇ヲ加フルニ至レリ今最近四ケ年間ニ於ケル當業者及吏員數ヲ擧クレハ左ノ如シ但シ生絲製造者ハ其ノ簽數十簽以下ノモノハ之ヲ省ケリ

年次	蠶種製造者	蠶種冷蔵業者	生絲製造者	真綿製生繭賣業者	生繭仲立業者	生繭保殺業者	養蠶者	計	吏員數
明治四十四年	二五	—	—	—	—	—	四三、三四	四六、〇八	一八五
全四十五年	二五	—	—	—	—	—	四四、九七	四八、二四	一八九
大正元年	二五	—	—	—	—	—	四二、九四	四五、五〇	一九二
全二年	二三	—	—	—	—	—	四〇、七三	四三、一八	二〇六
全三年	二〇	—	—	—	—	—	四〇、七三	四三、一八	二〇六
明治四十四年	(-) 三六	—	—	—	—	—	(-) 二、六〇	(-) 二、八四	(+) 二二
全三年ノ増減	(-) 三六	—	—	—	—	—	(-) 二、六〇	(-) 二、八四	(+) 二二

蠶種ハ近年著シク其ノ産額ヲ増加シ今ヤ殆ト縣内ノ需要ヲ充タスニ至レリト雖モ尙夏秋蠶種ニ在リテハ時々不足セルノ狀況ナリ今既往十箇年間ニ於ケル需給關係ヲ擧クレハ次表ノ如シ

(特別蠶種ハ百蛾ヲ一枚ニ換算) 過不足欄中△ハ不足

年次	蠶種製造額		蠶種掃立數量		掃立數量ニ比シ製造額ノ過不足	
	春蠶種	夏秋蠶種	春蠶種	夏秋蠶種	春蠶種	夏秋蠶種
明治三十八年	四、八九	一七、〇二	六、一八	一、七九	△九、〇三	△七、五四
全三十九年	五〇、六五	二三、〇六	六八、四二	一四、〇七	△八、六五	五、三三
全四十年	八〇、九七	三六、一〇	八四、八五	三三、八四	△六、六一	三、三九
全四十一年	六一、三五	二五、〇六	九三、三九	一三、三七	△二〇、三三	△六、九二
全四十二年	六七、七三	三三、三三	九一、〇四	二一、三六	△一一、三九	九、九七
全四十二年	六八、一三	五八、〇〇	一〇三、二七	一五、七八	七、〇八	二三、八三
全四十四年	八四、〇二	六五、三五	一一、四七	二六、五九	一一、三九	三七、九三
大正元年	七九、七八	六八、〇五	一一、三九	一三、五七	八、八二	三三、四五
全二年	六八、七三	五七、五八	一一、〇三	七、四九	△一、五七	五、九〇
全三年	五八、九六	五七、三九	一一、〇四	二、〇五	△四、八〇	△二、七四

十年前百ト見做
シタル大正三年ノ
割合

一四二 三三七 一九七 一四二 二二六 一八〇 一五五 △ 五三 △ 三六

蠶種ノ顯微鏡検査ニ從事スル吏員ノ一部ハ明治四十三年ヨリ女子ヲ以テ之ニ充ツルコト、シ事務ノ繁
閑其ノ他ノ事情ニ鑑ミ毎年津及上野支所ニ之ヲ配置セリ支所及出張所ノ數ハ支所五、出張所五ニシテ
津支所ヲ除クノ外明治四十一年以來各所共郡衙ノ一部ヲ充用シテ事務ヲ執リツ、アリシカ上野支所ハ
明治四十二年海藏支所ハ同四十三年名張出張所ハ大正四年何レモ事務所ヲ建設セリ然ルニ宇治山田支
所ハ蠶種製造額頓ニ増加シ到底郡衙ノ一部充用ニテハ事務ヲ處辨シ得サルヲ以テ借家ヲ爲シ居ルモ適
當ノ家屋ナク事務上不便ヲ感スルト共ニ當業者ニ苦痛ヲ與ヘツ、アルハ洵ニ遺憾ノコトナリトス而シ
テ各出張所ハ不越年母蛾検査事務結了ト共ニ八、九月頃閉鎖シ支所ニ於テ其ノ事務ヲ取扱ヒ來リタル
モ斯克テハ越年特別蠶種ノ母蛾検査請求ニ對シ比較的遠隔セル支所ニ蠶種ヲ提出セサルヘカラス爲ニ
蠶種ノ生理ヲ害シ一面當業者ハ費用ト手数トヲ要スルコト尠ナカラサルヲ以テ大正元年ヨリ之カ取扱
手續ヲ改正シ從前通り母蛾検査ハ支所ニ於テ行ヒ検査成績表ヲ當該出張所ニ回付シ出張所ニ於テ蠶種
ノ整理ヲ爲サシメ之カ證印ヲ行ヒ努メテ當業者ニ利便ヲ與フルコト、爲セリ
蠶病豫防ニ對シテハ蠶室、蠶具及病斃蠶等ノ消毒ヲ厲行シ之カ病原体ノ滅滅ヲ圖ルト共ニ鏡檢事務ノ
正確ヲ期スルノ外蠶兒蠶蛹蠶蛾ノ病毒豫檢并蠶蠶検査等ヲ行ヒ病毒多キモノハ製種ヲ見合ハスコトヲ
懲慝シ以テ當業者ノ損害ヲ尠ナカラシメ一面事務ノ簡捷ヲ圖リツ、アリ就中蠶蠶検査ハ當業者ノ希望

ニ依リ掃立ツヘキ蠶種ニ對シ各卵區二十粒以上ヲ切取り之カ發蟻速進ヲ行ヒ而シテ各卵區ノ蟻蠶ヲ鏡
檢シテ病毒ノ有無ヲ檢シ有毒卵區ハ任意之ヲ除却シテ掃立ニ供セサルコトニセシメタルナリ元來母蛾
検査ニ依リ合格セル蠶種モ絶對無毒ト謂フヲ得ス是レ検査ノ粗漏ニアラスシテ母蛾乾燥ノ方法并時期
ニ依リ又卵殻ノ外部ニ病毒ノ附着スル等ノ事情ニ依リスカル事實ノ存在ヲ免ルサルヘケレハナリ本檢
査ハ本年始メテ試験的ノ意味ヲ以テ施行セルニ過キササルカ故ニ其ノ検査數量甚タ尠ナカリシモ大ニ當
業者ノ意ヲ充タスヲ得タリ其ノ成績左ノ如シ

大正四年蠶種製造者掃立蠶種數量	製造者數	蟻蠶検査施行卵區數	全上製造者數	検査成績	有毒歩合(百分率)
三二、六六	三人	三六、九九	七人	無毒 有 毒	一、三
	二八	卵區	卵區	卵區	
		三六、九九	三六、五〇九	四八八	

今又明治三十八年以降各年ニ於ケル母蛾検査成績ニ依ル病毒歩合并蠶蛆被害歩合ヲ擧クレハ次表ノ如シ

年次	病毒歩合(百分率)	蠶蛆被害歩合(百分率)	備考
明治三十八年	九、七	三五、一	框製蠶種製造額本年ヲ一〇ト見做シタル各年次ノ製造割合左ノ如シ
全 三十九年	一一、五	三三、六	一七

全四十年	九、二	二、五	四九
全四十一年	一三、七	一三、三	六一
全四十二年	一五、二	一一、二	八七
全四十二年	一五、〇	八、八	一三一
全四十四年	一〇、五	七、二	一五七
大正元年	六、八	六、〇	一五八
全二年	八、〇	八、六	一四一
全三年	七、六	六、八	一二一
十年前比増減 (△印ハ減)	△ 二、一	△ 二、八、三	

蠶蛆被害歩合ハ大正二年ニ於テ稍々増加セルモ大体ニ於テ著シキ減少ニシテ蠶病豫防上最モ顯著ナル事蹟ヲ現ハスニ至レリ之ヲ明治二十四、五年項蛆害ノ爲殆ト製種シ得サリシ時ノ慘狀ニ想到スレハ當業者ノ受クル利益蓋大ナリト云ツヘシ而シテ尙ホ之カ減滅ヲ圖ラムトシ一層取締ヲ嚴ニスルト共ニ生繭取扱場所ノ床下ヲ三和土ニ改善セムコトヲ勸奨シ漸次其ノ箇所數ヲ増加シツ、アリ微粒子病毒ニ至テハ減少ノ割合比較的遅々タルモノアレトモ是レ數年前ヨリ夏秋蠶種製造額増シ殊ニ尙ホ近年外國種

系蠶種ノ製造其ノ端緒ヲ開キ漸次増加セムトスル趨勢アルヲ以テ爾今病毒歩合ハ或ハ増加スルモノアラムヲ虞ル蓋外國種系蠶兒ハ本邦種ニ比スレハ概シテ微粒子病毒ニ對スル抵抗力弱ケレハナリ然レトモ時勢ノ要求ハ此ノ種蠶種ノ製造ヲ益々多カラシメツ、アレハ當業者ニ對シ飼育法ヲ始メ病毒驅除豫防ニ關スル一般の指導ヲ周到懇切ナラシムルト共ニ一層検査事務ニ對シ細心ノ注意ヲ拂ハムトス外國種系蠶種ノ製造額ヲ各年次別ニ擧クレハ左ノ如シ

年次	蠶種製造總額		外國種系製造額		製造總額ニ對スル外國種歩合(千分率)	種別	名稱	系		製造總額ニ對スル歩合(千分率)	
	特別蠶種	普通蠶種	特別蠶種	普通蠶種				外	内		
大正元年	三、九四、四八二	八、九一、五九二	二、五〇二	三	二	白繭種 清昌長	國一、清國七號、卵形又昔、黃石丸、伊太利金黃四號	特別蠶種 二四、八七二	普通蠶種 八	計 二五七	對スル歩合 一、五
大正二年	三、四七、四八三	三、七二、七三	四二、八五二	五八、四二六	三	白繭種 黃繭種	卵形又昔、又昔、清國廿號、三河錦、國富、名古屋又、國一、三龍又、白玉、清國七號、白石丸、掛合又昔、佛國白繭、清又昔、黃石丸	特別蠶種 三九、六三三	普通蠶種 五八、三九四	計 九八、〇二七	對スル歩合 二元
大正三年	二、六七、五四三	二、九八、三二九	八三、六〇四	二〇四、八七二	六	白繭種	又昔、三龍又、國一、國富、三河錦、掛合又昔、名古屋又、白露、清國廿號、支那又、清國七號、佛國白繭、中巢、掛合、三河錦、掛合大又、國一、花、大圓頭、掛合大錦、掛合	特別蠶種 四七、〇五三	普通蠶種 一七九、四八〇	計 二二六、五三三	對スル歩合 三元

大正元年 一〇 見做シタ ル大正四 年ノ割合	二	六	一〇	八四 三三	七三	八五	白蠶種 黃蠶種	佛國白蠶、掛合國ノ花、掛合 清國七號 黃石丸、名古屋黃石、伊國四 號、伊國二號	三六、五三	二五、三、八九	三〇
大正四年一、四七、〇九二、三三八、六七、八九三、六四、三九、七五、七、六六						一三	白蠶種 黃蠶種	三龍又、國富、掛合又昔、尾 張錦、三河錦、又昔、白玉、名 古屋又、白龍、改頁、一號又 昔、黃石丸、掛合青熟、犬頭 又、掛合國富、白蠶、支那甘 尾張錦、清國甘、二號名古 屋又、高砂、掛合中集、清國 一號、中集、佛國白蠶、掛合 青熟、掛合清國甘、掛合五 洲、諸桂、掛合清國甘、清 國七號、掛合白蠶、大圓頭、 掛合佛國白蠶、清十號、掛合 清國一號、掛合日本錦、清國 有斑	一、四、五、四	一、九、一、二、四	三、五
備考	一、計ハ特別蠶種百蛾ヲ一枚ニ換算シ計上シタルモノトス	二、名稱ハ製造額ノ多キモノヨリ順次之ヲ記載セリ					黃石丸、一號名古屋黃石、名 古屋黃石、伊國二號、掛合黃 石丸、伊國四號、金黃、ビレ ニ一三號、スベイン、グア ル二號、黃白、黃金種、ア ル一號、ビ、ジャロド 下、掛合黃白、掛合伊國二號		二、〇九、二八八	四六、二、三九	七

六、蠶種冷藏成績

秋蠶飼育ノ發達ハ著シク冷藏蠶種ノ需要ヲ増シ其ノ生産ノ増加ヲ要求シツ、アルモ縣下ニ適當ノ冷藏所ナキヲ以テ他府縣遠隔ノ地ニ委托スルノ止ムナキニ至リ爲ニ運搬中ニ於ケル障害ヨリ往々蠶種ノ生理ヲ害シ不發生ノ原因ヲ爲スコト決シテ珍トセス加之貯藏料ニ數千圓ヲ支出セサルヘカラサルノ不利益アル等斯業ノ發達ヲ沮碍スルモノ少ナカラサルヲ以テ明治四十五年當業者ヲ勸誘シテ有限責任三重縣蠶種生産販賣購買組合ヲ設立シ同組合事業トシテ阿山郡烏ヶ原村大字大谷地内ニ蠶種冷藏水庫ヲ設置セシメタリ大正元年八月十一日工ヲ起シ同年十一月二十六日竣成セリ經費金參千四百八拾圓敷地三百坪建物坪數貯藏庫二十八坪事務所二十九坪計五十七坪ニシテ採水池ハ通稱大澤池反別一町四畝歩ヲ充用スルコト、シ直チニ同年ヨリ採水積込ヲ行ヒ翌大正二年第一回ノ貯藏ヲ行ヘリ縣ハ即チ大正二年度ニ於テ金壹千圓同三年及四年度ニ於テ金五百圓ツ、ヲ補助セリ其ノ成績概要左ノ如シ

大正一二年 度

一、 溫 度

年 月	内 氣	外 氣
	最高	最高
	最低	最低

員 辨 郡	三 重 郡	鈴 鹿 郡	河 藝 郡	安 濃 郡	一 志 郡	飯 南 郡	多 氣 郡	度 會 郡	阿 山 郡	名 賀 郡	志 摩 郡
四	七	四	四	二	七	六	四	六	四	一	三
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
六三	七〇	七五	二、五二	一、八二	一、四七	二、〇九	一、三九	一、三九	一、九七	四、九七	二、六〇
自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日	自二月十八日
全	全	全	不越年二化性秋蠶種	越年秋蠶種	全	全	人工越冬蠶種	越年秋蠶種	全	不越年二化性秋蠶種	越年秋蠶種

桑 郡 市 別 郡	委託者數	冷 藏 數 量	冷 製 期 間	主 ナ ル 蠶 種 ノ 種 類	大正二年
					計
					八 月
					七 月
					六 月
					五 月
					四 月
					三 月
					二 月
					一 月
					計
		三六、九	三四、五	八二、〇	三六、九
		三六、九	三五、一	七、〇	三六、九
		三五、九	三五、五	八二、〇	三五、九
		三五、八	三五、四	七、〇	三五、八
		三六、〇	三四、七	六九、八	三六、〇
		三四、七	三四、五	七三、〇	三四、七
		三四、五	三四、五	六〇、五	三四、五
		三四、五	三四、五	四三、〇	三四、五
		三六、九	三四、五	三八、〇	三六、九

一、蠶種冷蔵成績

備考 内氣温度ノ時々高キコトアルハ作業者ノ出入ニヨリ燈火及体温ノ爲影響スルモノニシテ外氣ノ温度甚シキニ比シ内氣ハ概シテ平温ナリト云フヲ得ヘシ

北牟婁郡	一全	自二月十八日	全
津市	一全	自二月十八日	全
計	二全	自二月十八日 至九月四日	全

以上貯藏蠶種ノ發生成績ヲ稻扱、小諸等ノ風穴貯藏ノモノニ比スルニ風穴ノモノニ在リテハ發生四日乃至六日ニ涉リ發生歩合又六、七分ニ過キサレモノ多カリシニモ拘ハラズ本氷庫貯藏ノモノハ一日乃至二日ニ八、九分若クハ全部ノ發生ヲ見其ノ成績著シク良好ナルヲ得タリ
其ノ他免許ヲ與ヘタル風穴ハ一志郡太郎生村小竹倉之助所有ノ同地内、北海道ケ原風穴(大正二年免許)名賀郡瀧川村濱地佐太郎所有ノ同地内赤目瀧風穴(同年免許)及一志郡太郎生村福山涉所有ノ同地内風穴(同四年免許)ノ三アリ今其ノ成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

大正二年度
一、温度

年 月	名 稱	内 氣	備 考
大正二年 月	北海道ケ原風穴	最高 二八、九 最低 二六、〇	

三 月 全	三五、〇	三〇、〇	
四 月 全	三九、五	三四、〇	
五 月 全	四一、八	三八、〇	外氣觀測シタルモノナシ
六 月 全	四二、八	四〇、〇	
七 月 全	四三、九	四〇、八	
八 月 全	四四、六	四一、五	
九 月 全	四四、八	四二、五	
計	四四、八	二六、〇	

備考 赤目瀧風穴ハ温度高キヲ以テ不越年蠶種ノ原種究理又ハ一時抑制ヲ爲シ得ルニ過キス而シテ貯藏期間ハ僅カ六月中ニ止マリ温度四十九度ヨリ五十度ノ間ニ居レリ

二、蠶種冷蔵成績

地 方 別	委 托 者 數	冷 藏 數 量	冷 藏 期 間	主 ナ ル 蠶 種 ノ 種 類
阿 山 郡	五	特別蠶種 一〇五	自二月三十日 至七月三十日	不越年二化性秋蠶原種 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

年 月	内		外	
	最高	最低	最高	最低
(一) 島ヶ原蠶種冷蔵氷庫				
一、溫度				
備考 名賀郡欄左方ハ赤目瀧風穴ノ分ニシテ其ノ他ハ青海省道ヶ原風穴ノ分ナリトス				
大正三年度				
名賀郡	三全	四全	全	全
奈良縣 宇陀郡	五全	一五	自六月二十四日	全
高知縣 高岡郡	三全	八〇	自二月二十日	不越年二化性秋蠶原種
德島縣 麻植郡	二全	二〇	全	全
德島縣 板野郡	二全	八〇	全	全
香川縣 木田郡	二全	八〇	全	全
計	二四全	八三	自二月二十日	全
		至七月二十日		

大正三年	蠶種冷蔵成績								
	二	三	四	五	六	七	八	九	計
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
委託者數	六	九							
特別冷蔵數量	三、八〇	二、一〇							
冷蔵期間	自八月十八日	自二月二十八日							
主ナル蠶種ノ種類	越年秋蠶種	全							
蠶種	三六、八	三六、八	三五、六	三五、六	三七、〇	三八、一	三八、八	四二、〇	三六、八
蠶種	四一、〇	五三、〇	七〇、〇	六九、〇	八二、〇	八四、〇	八四、〇	七九、〇	八四、〇
蠶種	三五、〇	三二、〇	四一、〇	五二、〇	六九、〇	七三、〇	七三、〇	七七、〇	三三、〇

今既往三ヶ年間に於ケル冷蔵枚數ヲ製造額ニ對比スレハ左表ノ如シ

年次	縣内冷蔵蠶種製造額	縣内冷蔵所冷蔵數量	製造額ニ對スル全上歩合	縣外冷蔵所ニ冷蔵ノ蠶種歩合
大正二年	一四八、六四八	二、七〇一	一、六	八、四
全三年	一六四、五五四	五、六四三	三、四	六、六
全四年	(見込) 一六〇、三五三	六、二五七	四、一	五、九
三ヶ年平均	一五七、八五二	四、八、五四	三、一	六、九

備考 本表枚數ハ特別蠶種并普通蠶種ノ枚數其ノ儘ヲ合算シタルモノトス

七、製絲業改良成績

製絲業獎勵ニ對シテハ明治三十六年ヨリ製絲巡廻教師ヲ設置シ同三十八年ニ至リ之ヲ農業技師ト改稱シ専ラ斯業ノ實地指導ヲ行ハシメ以テ今日ニ至レリ由來製絲業ハ絲價ノ高低ニ伴ヒ固ヨリ多少ノ盛衰アルヲ免レサルモ概シテ産額ノ増加ヲ示セリ即チ次表ノ如シ

製絲戶數	生		絲		屑物、屑絲、真綿		計	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額

明治三十六年	一、四二七	六二、四五〇	三、四四八、三二一	一七、二四九	一四〇、一八七	七八、六九九	三、五八八、四〇八
全三十七年	一、〇六八	五三、一九九	二、九三、〇七三	一八、五九八	一二一、二七六	七二、七九七	三、〇四三、三四九
全三十八年	一、〇一〇	四八、一五四	二、七〇、六二四	二〇、九九〇	一六五、七〇四	六九、一四四	二、九三三、三三八
全三十九年	一、三四七	五一、六七七	三、二九五、二七二	一九、七七七	三四八、〇七三	七二、三九四	三、六四三、三四八
全四十年	一、一八六	五三、〇九八	三、三六、六七二	二一、五〇二	一二七、六三三	七四、六〇〇	三、四九四、三〇四
全四十一年	一、一六九	五八、五九九	三、一九六、四三八	二一、七七〇	一二一、八五〇	八〇、三六九	三、三九、二八八
全四十二年	一、〇二二	六七、三三三	三、四四四、七八八	三三、六六四	一八二、九六一	九九、九九七	三、六七、七四九
全四十二年	一、〇〇三	六九、七七六	三、六三〇、三八一	二六、八七二	一三三、五〇五	九六、六四八	三、七六三、八八六
全四十四年	九九〇	七八、三五四	三、九九九、八〇六	二九、六一	一四二、三〇三	一〇七、五二五	四、一四二、一〇九
全四十五年	一、〇〇〇	八〇、六五二	四、一九七、五九二	三〇、九〇九	一八〇、七九二	一一一、五六二	四、三七八、三八四
大正元年	八六七	八三、三三三	四、五九四、〇四三	二五、三二一	一六四、二五〇	一〇八、五六三	四、七五八、二九三
大正二年	八六一	七七、六四九	四、〇六五、二二七	二三、七五〇	一一七、六二二	一〇一、三九九	四、一八二、八二九
全三年	六〇	一二六	一一八	一三八	八四	一一九	一一七

本表産額ノ増加ニ反シ製絲戶數概シテ漸減セルハ是レ小規模ノ工場カ廢業又ハ合同シタル結果ニシテ

明治三十六年ヲ百ト見做シタル大正三年ノ割合

敢テ憂慮スヘキニアラサルモ縣下製絲業ノ現況ニ鑑ミルニ繰絲功程少ナク器械生絲工女一人一日平均僅ニ六十一分ニ過キス隨テ生絲百斤ノ生産費貳百圓以上ヲ要シ今之ヲ長野、山形諸縣ノ繰絲功程一日百斤以上百斤ノ生産費百五六拾圓内外ニ比シ大ニ遜色アルハ頗ル遺憾ノコトナリトス且工女收得多カラス隨テ優良工女ヲ永ク勤績セシムル能ハサルハ當業者ノ常ニ苦痛トスル所ナリ依テ是等事業ノノ賃金刷新ヲ圖ラムカタメ縣製絲同業組合ニ對シ明治四十五年度ヨリ補助金ヲ交付シテ事業ノ改良施設ヲ促セリ其ノ成績左ノ如シ

年次	縣製絲同業組合事業費豫算額	縣費補助額	成績																																									
			<p>精勤工女行賞</p> <p>十年以上勤績者七年以上勤績者五年以上勤績者</p> <table border="1"> <tr> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>一三三^圓</td> <td>二六四^圓</td> <td>二二三^圓</td> <td>二二三^圓</td> <td>三三七^圓</td> <td>一五八^圓</td> <td>六三二^圓</td> </tr> <tr> <td>六三二^圓</td> <td>六三二^圓</td> <td>六三二^圓</td> <td>六三二^圓</td> <td>六三二^圓</td> <td>六三二^圓</td> <td>六三二^圓</td> </tr> </table> <p>技術優等工女行賞</p> <table border="1"> <tr> <td>特等者</td> <td>優等者</td> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>七〇^圓</td> <td>一四〇^圓</td> <td>三三六^圓</td> <td>三三六^圓</td> <td>四〇八^圓</td> <td>四七六^圓</td> </tr> </table> <p>退職工女行賞</p> <table border="1"> <tr> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>人員一賞金</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>七〇^圓</td> <td>一四〇^圓</td> <td>三三六^圓</td> <td>四七六^圓</td> </tr> </table>	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	計	一三三 ^圓	二六四 ^圓	二二三 ^圓	二二三 ^圓	三三七 ^圓	一五八 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	特等者	優等者	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	計	七〇 ^圓	一四〇 ^圓	三三六 ^圓	三三六 ^圓	四〇八 ^圓	四七六 ^圓	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	計	七〇 ^圓	一四〇 ^圓	三三六 ^圓	四七六 ^圓
人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	計																																						
一三三 ^圓	二六四 ^圓	二二三 ^圓	二二三 ^圓	三三七 ^圓	一五八 ^圓	六三二 ^圓																																						
六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓	六三二 ^圓																																						
特等者	優等者	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	計																																							
七〇 ^圓	一四〇 ^圓	三三六 ^圓	三三六 ^圓	四〇八 ^圓	四七六 ^圓																																							
人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	計																																									
七〇 ^圓	一四〇 ^圓	三三六 ^圓	四七六 ^圓																																									

明治四十五年
大正元年

二、三五、〇〇〇

一、〇〇〇、〇〇〇

二十年以上在職	十二年以上在職	十年以上在職	計
人員一慰勞金	人員一慰勞金	人員一慰勞金	人員一慰勞金
一 ^圓	二五 ^圓	三三 ^圓	一五 ^圓
七一 ^圓	七三 ^圓	七三 ^圓	六一 ^圓

新工女養成

前年ヨリ本年ニ至ル養成濟工女數七百六名

繭解舒品評會

府縣別	出品点数	受賞点数
縣内	一、三五 ^點	五二 ^點
縣外	二 ^點	一九 ^點
計	一、三六 ^點	五三 ^點

技術員設置

製絲教婦七人ヲ雇聘シ指導ヲ行フ

精勤工男女行賞

十年以上勤績者七年以上勤績者五年以上勤績者	計
人員一賞金	人員一賞金
一五三 ^圓	七〇五 ^圓

技術優等工女行賞

特等者	優等者	人員一賞金	人員一賞金	人員一賞金	計
一五三 ^圓	三〇六 ^圓	二〇五 ^圓	二〇五 ^圓	三六八 ^圓	七〇五 ^圓

大正二年

二、六九、五〇〇

二、〇〇〇、〇〇〇

五四

特等者		人員	賞金	優等者	人員	賞金	計	人員	賞金
退職工女行賞		一〇人	二六〇	四三人	四三人	四三〇	五三〇	六三八	
新工女養生		一〇人	三〇〇	九〇	二〇〇	二七〇	二七〇	二五八	
沈線講習		本年養成工女數二百六十五名							
場	所	期	間	講習員	對一工女總線量	本年沈線前年浮線	比	較	增減歩合
名賀郡瀧川村	藤森製絲場	自四月十日	至五月十日	五人	五二	一一三、〇	六七、五四五、五		一六、七四
全郡内	栗田、中野、雪岡、藤森各製絲場	自六月廿一日	至九月十八日	二三人	二二				
備考									
一、本成績ハ前年同一期間ニ於テ講習會ヲ開催シタル各工場カ									

實施セル浮線成績ノ標準ト各工場ニ於ケル講習最終期ノ平均成績トヲ比較セルモノトス

二、原料繭ハ同地方ニ於テ生産セルモノヲ各工場カ任意ニ購入セルモノナレハ固ヨリ一定セサルモ前年ニ比シ解舒遙ニ不良ナルモノアリシハ一般當業者ノ認ムル所ナリトス

三、絲量ハ各工場カ普通ノ營業狀態ヲ其ノ儘利用シタルコトナレバ具體的ニ其ノ増收歩合ヲ算出スルヲ得サルモ從來ノ浮線ニ比シ各工場等シク其ノ増收ヲ認メ居レリ

四、生絲ノ品位ハ浮線ニ比シ優ルトモ劣ルコトナキヲ認ム

技術員設置
技手一名教婦二名ヲ設置シテ指導ヲ行フ

模範工女行賞		十年以上勤績者	七年以上勤績者	五年以上勤績者	計
人員	賞金	人員	賞金	人員	賞金
一〇人	二六〇	二〇人	三〇〇	三四五	六五五
技術優等工女行賞					
人員	賞金	人員	賞金	人員	賞金
一〇人	二六〇	二〇人	三〇〇	三四五	六五五
八六四					

五五

大正三年		三、六七、五〇〇		二、〇〇〇、〇〇〇	
製絲講習ノ一					
種別	開催場所	期	間	講習生 人員	繰繰功程 沈繰増減 歩合
沈繰製絲	河藝郡神戸町 柴田製絲場	大正三年 自六月二十日 至七月十四日 (二十五日間)		六 ^人 三五、九七 ^キ 、八二五、九	〇八 ^キ — 二、八四
全	全郡棕本村 駒田製絲場	自七月廿五日 至八月七日 (十五日間)		二八 ^人 六、五五、六	— 六、九一、二〇
備考					
一、本成績ハ前年同製絲場ニ於ケル同一期間ノ浮繰ニ比シタルモノトス					
二、駒田製絲場ニ於ケル成績ノ浮繰ニ比シ劣レルハ是レ原料ノ劣悪不定ナリシト講習上ノ設備完カラス且半途ニシテ廢止シタル等完全ナル講習ヲ行ヒ得サリシニ由ル					
製絲講習ノ二					

五六

大正四年		三、六三、〇〇〇		二、〇〇〇、〇〇〇	
製絲講習ノ二					
種別	開催場所	期	間	講習生 人員	繰繰功程 沈繰増減 歩合
教婦養成	三重郡大矢 知村 五島製絲場	自十月廿四日 至十二月廿七日 (三十五日間)		一九 ^人 一〇八、〇	一〇〇、〇 二、〇〇、一九
施設事業種別					
一、技術員設置					
二、製絲講習會開催					
三、製絲競技會開催					
四、模範工女優遇					
内 製絲講習會ノ既設ニ係ル三重郡羽津村森製絲場ニ於ケル成績左ノ如シ					
期	間	講習生 人員	繰繰功程 沈繰 浮繰	對一捻繰絲量 沈繰 浮繰	功 程 絲量 全上
自七月三十日 至十月十八日 (八十一日間)		六 ^人	六九、二 八七、八	一八、七三 一九、一六	二、六九〇、四三
備考					
一、本成績ハ同製絲場ニ於ケル前年ノ浮繰成績ト比較シタルモノナリトス					
二、尙本年事業トシテ他ニ二箇所以上開催ノ見込ニシテ目下志郡高岡村高岡製絲株式會社製絲場ニ開催中ナリ					

五七

如上繰絲法ノ改良其ノ他ノ施設ニ依リ能ク生産費ヲ節減シ併テ品質ノ向上ヲ促スヲ得ヘシト雖モ尙他ニ刷新ヲ要スヘキ事項少ナカラス就中一ケ年間ニ於ケル就業日數器械製絲ニ在リテスラ稍ク平均二百五十日ニ過キササルカ如キハ甚タ惜シムヘキコトニシテ爲ニ製絲經濟ニ影響スルコト尠少ナラサルヲ以テ是等經營方法ノ改善ニ對シテハ極力指導獎勵中ナリトス

八、蠶絲業關係團體

蠶絲業ノ改良發達ヲ促サムニハ又同業者相倚リ弊害ヲ矯正スルト共ニ共同團體ノ力ヲ以テ遺利ヲ收拾スルコトノ忽諸ニ付スベカラサルハ論ナシ而シテ之カ團體ハ其ノ目的ノ異ナルニ隨ヒ組織及事業ニ自ラ差異ナキ能ハスト雖モ外ハ當業者ノ意見代表機關トナリ内ハ事業改善ノ參謀部トナリ直接間接ニ斯業ニ裨益スルコト大ナルニ於テハ即チ一ナリ今縣下ニ於ケル各種ノ團體ヲ舉グレハ左表ノ如シ

(1) 法規ニ依ル組合

名	稱	區 域	組合員數	大正四年度經費豫算額	大正四年度豫定事業	設立年月日
三重縣製絲同業組合伊勢伊賀一圓			五釜以上 一八七	四、七六 製絲講習會、模範工女優遇	技術員設置、講習會、模範工女優遇	明治卅三年四月三十日

員辨郡蠶種同業組合員辨郡一圓			九		各種繭品評會、蠶業視察	大正三年二月十二日
三重郡蠶種同業組合三重郡一圓			一四		一、二、三、講習會、蠶業視察	大正元年九月十一日
鈴鹿郡蠶種同業組合鈴鹿郡一圓			二九		三、四、蠶種購入配付、蠶業視察、飼育分場品評會	明治卅五年一月廿二日
河藝郡蠶種同業組合河藝郡一圓			二五		三、四、蠶業調查視察、蠶種及出穀繭品評會、功勞者表彰、蛹體檢査	全四十二年二月廿九日
安濃郡蠶種同業組合安濃郡一圓			一七		一、二、三、原蠶種製造配付、種繭品評會、蠶業視察	大正三年三月廿六日
一志郡蠶種同業組合一志郡一圓			一九			明治四十年八月九日
南部蠶種同業組合	度會、多氣、飯南、志摩各郡及宇治山田市一圓		五			全四十三年十月十一日
阿山郡蠶種同業組合阿山郡一圓			二		五〇〇蠶業視察	全四十一年三月二日
名賀郡蠶種同業組合名賀郡一圓			二四		四〇〇技術員設置、原繭選定會、蠶業視察	全四十三年四月廿三日
三重縣繭絲問屋業組合三重縣一圓			三〇		營業上ノ弊害矯正	全四十一年六月四日

有限責任	三重縣蠶種生產販賣購買組合	三重縣一圓	二〇二	全	大正三年度事業(以下全) 蠶種冷藏	全四十五年
有限責任	員辨郡蠶種生產販賣組合	員辨郡一圓	三	二、四〇〇	蠶種販賣、物品器具設備使用	明治四一年
有限責任	小島信用購買販賣組合	桑名郡長島町 大字小島	三	二五	事業ノ一部トシテ 蠶業資金貸付、肥料購買	全四十五年
有限責任	大山田西方購買販賣生產組合	桑名郡大山田 村大字西方	七	四	蠶種貯藏箱設備使用、肥料購買	全四十四年
有限責任	梅戸井信用購買販賣組合	員辨郡梅戸井 村	七	一、三九二	蠶業資金貸付、肥料購買	全四十四年
無限責任	十社信用購買販賣組合	員辨郡十社村	七	一、三九二	蠶業資金貸付、肥料購買	大正元年
有限責任	八王子信用購買販賣組合	三重郡四郷村 大字八王子	二九	二、五三〇	蠶業資金貸付、肥料購買	明治四十年
有限責任	千種信用購買販賣組合	三重郡千種村	一〇四	八九〇	蠶具、消毒藥品、肥料購買	全四十五年
有限責任	山城信用購買販賣組合	三重郡下野村 大字山城	六三	一、三九〇	蠶業資金貸付、肥料購買	全四十四年
有限責任	下海老原信用購買販賣組合	三重郡縣村 大字下海老原	三九	一、五六〇	蠶種、消毒藥品、肥料購買	全四十二年
有限責任	札場信用購買組合	三重郡下野村 大字札場新田	四〇	八六	蠶業資金貸付、肥料購買	全四十四年

六〇

有限責任	札場信用購買組合	三重郡下野村 大字札場新田	一八	一、〇〇〇	肥料、桑苗購買	全四十二年
有限責任	椿信用購買組合	鈴鹿郡椿村	三六七	二、〇三三	蠶具、肥料購買	全四十四年
有限責任	豐野信用購買販賣組合	河藝郡一身田 町大字豊野	四〇	七〇	消毒藥品、肥料購買	全四十年
有限責任	南黒田信用購買販賣組合	河藝郡黒田村 大字南黒田	一六	一、五三三	消毒藥品、蠶種、包紙、肥料、木炭購買	全四十年
有限責任	大里信用購買組合	河藝郡大里村 大字窪田	二五	二、一五六	消毒藥品、肥料購買	全四十年
無限責任	河曲信用組合	河藝郡河曲村	四〇	一、五二〇	蠶業資金貸付	全三十六年
有限責任	椋本信用販賣購買組合	河藝郡椋本村	七	三九	蠶具、肥料購買	全四十五年
有限責任	神戸信用購買販賣組合	安濃郡神戸村	二六七	五、三〇	蠶業資金貸付、蠶具、木炭、肥料購買	全四十年
有限責任	野口信用購買販賣組合	安濃郡明合村 大字野口	三六	一八〇	蠶業資金貸付	大正元年
有限責任	萩野信用購買販賣組合	安濃郡安西村 大字萩野	一〇八	一、五〇〇	蠶業資金貸付、肥料購買	全元年

六一

有限責任	高宮信用購買販賣組合	安濃郡高宮村	二二七	五〇〇	蠶業ノ一部トシテ 蠶業資金貸付、蠶具、肥料購買	昭四十五年 六月廿一日
有限責任	長野信用購買販賣組合	安濃郡長野村	二〇九	五〇四	蠶具、消毒藥品、肥料購買	大正元年 十月廿八日
有限責任	村主信用販賣購買組合	安濃郡村主村	三〇七	五、三六	蠶具、肥料、木炭、消毒藥品 購買	明治卅八年 五月廿六日
無限責任	粟加信用販賣購買組合	安濃郡明合村 大字粟加	二〇二	五〇五	消毒藥品、蠶具、肥料、木炭 購買	全三十六年 五月十六日
有限責任	片田信用購買販賣組合	安濃郡片田村	三三七	七、〇〇〇	蠶業資金貸付、蠶具、消毒藥 品、木炭、粟糠、肥料購買	全四十五年 三月十二日
有限責任	草生信用購買販賣組合	安濃郡草生村 大字草生	三一九	九二二	蠶具、木炭購買	全四十五年 七月二十日
有限責任	田端上野信用購買販賣組 合	安濃郡明合村 大字田端上野	四四	一八六	蠶具、木炭購買	大正元年 十一月廿日
有限責任	豐地信用購買販賣組合	一志郡豐地村	三七二	二四、一〇〇	蠶業資金貸付、蠶具、肥料購 買	明治卅九年 三月廿七日
無限責任	波瀨室ノ口信用購買販賣 組合	一志郡波瀨村 大字室ノ口	一〇九	三、〇一六	蠶業資金貸付、蠶具、桑苗、消 毒藥品、粟糠、肥料購買	全四十四年 二月十七日
有限責任	波瀨川原出信用購買販賣 組合	一志郡波瀨川 村大字川原出	八九	六、八五	蠶業資金貸付、蠶種、蠶具、 粟糠、肥料購買	全四十四年 二月四日

有限責任	下ノ川信用販賣購買組合	一志郡下ノ川 村	二四三	八、八八	蠶具、桑苗、肥料購買	全四十年 十一月九日
有限責任	境信用購買販賣組合	一志郡境村	二二二	一、〇四七	蠶具、蠶種、桑苗、肥料購買、 生繭販賣	全四十四年 九月十六日
有限責任	波瀨信用販賣購買組合	一志郡波瀨村 ノ内	五三	八、一七九	蠶業資金貸付、蠶具消毒藥品、 肥料、粟糠購買	大正二年 二月十九日
有限責任	小阿阪信用販賣購買組合	一志郡阿阪村 大字小阿阪	一九三	三、四三	蠶具、粟糠、肥料購買、生繭 販賣	明治卅三年 五月十九日
無限責任	八手俣信用購買販賣組合	一志郡竹原村 大字八手俣	五三	一、九四	蠶種、桑苗、蠶具、肥料購買	全四十二年 三月三十日
有限責任	鵠信用購買販賣組合	一志郡鵠村	二〇五	四、八〇〇	蠶業資金貸付、蠶具、消毒藥 品、肥料購買	全三十八年 十二月一日
有限責任	佐田信用購買販賣組合	一志郡倭村大 字佐田	九二	七二	消毒藥品、肥料購買	大正二年 九月三日
保証責任	豐田信用購買販賣生產組 合	一志郡豊田村	一九〇	三、〇六九	蠶業資金貸付、蠶具、肥料、 木炭購買	明治卅九年 三月十四日
有限責任	上ノ庄信用購買組合	一志郡米ノ庄 村大字上ノ庄	二五七	一、二二	蠶業資金貸付	全四十四年 三月廿三日
有限責任	中郷信用組合	一志郡中郷村	二四二	二、一〇〇	蠶業資金貸付	全四十二年 十二月廿日

有限責任	中原信用購買販賣組合	一志郡中原村	五	一、九三	事業ノ一部トシテ 蠶業資金貸付、蠶種、肥料購買	明治卅九年 三月十四日
有限責任	三ヶ野信用販賣購買組合	一志郡大三村 大字三ヶ野	一七三	二、三六九	蠶業資金貸付、肥料購買	全四十五年 一月廿九日
有限責任	川口信用販賣購買組合	一志郡川口村	八六	三九	蠶業資金貸付、蠶具、肥料購買	大正三年 四月七日
有限責任	多氣村信用販賣購買組合	一志郡多氣村	二七九	一、四六	蠶業資金貸付、肥料購買	全二二年 十月九日
有限責任	上原信用販賣購買組合	一志郡宇氣郷 村	二〇六	八八	蠶業資金貸付、肥料購買	全二二年 九月廿三日
無限責任	相津購買組合	飯南郡粥見村	三六	三五	蠶具、蠶種、肥料購買	明治卅五年 九月十日
無限責任	高木購買組合	飯南郡漕代村 大字高木	四二	一、〇〇	蠶種、消毒藥品、肥料購買	全四十年 四月十三日
有限責任	殿村信用購買組合	飯南郡伊勢寺 村大字殿村	二〇	四六	蠶種、肥料購買	全四十四年 六月廿九日
無限責任	信用購買販賣生産組合深 野社	飯南郡柳野村 大字深野	四〇	一、二九	生糸生産販賣	全四十四年 六月二十日
有限責任	久保信用購買組合	飯南郡機殿村 大字久保	四九	九七	事業ノ一部トシテ 粟糠、肥料購買	全四十五年 二月廿七日

有限責任	花岡信用購買組合	飯南郡花岡村	二五	三、三七	蠶具、肥料購買	全四十年 二月十三日
有限責任	志貴信用購買組合	多氣郡下御系 村大字志貴	三六	一五〇	粟糠、肥料購買	全四十五年 二月九日
有限責任	波多瀬信用購買組合	多氣郡五ヶ谷 村大字波多瀬	二二	七九	蠶具、消毒藥品、肥料購買	全四十四年 七月廿八日
有限責任	大淀信用購買組合	多氣郡大淀村 ノ内	三九	七三	蠶業資金貸付、蠶具、木炭、消 毒藥品購買	全四十二年 三月廿二日
有限責任	朝柄信用組合	多氣郡五ヶ谷 村大字朝柄	一〇一	五二	蠶業資金貸付	全四十四年 二月十四日
有限責任	山大淀信用組合	多氣郡大淀村 大字山大淀	九五	一、二七	蠶業資金貸付	全四十四年 六月二十日
有限責任	丹生下村信用購買販賣組 合	多氣郡丹生村	四六	一、三八	蠶具、肥料購買	全四十二年 十月廿三日
有限責任	上三瀬信用購買販賣組合	多氣郡三瀬谷 村大字上三瀬	七五	七五	蠶業資金貸付、蠶種、蠶網、 肥料購買	大正二年 五月廿四日
有限責任	油夫信用購買組合	多氣郡佐奈村 大字油夫	三九	三九〇	蠶業資金貸付、桑種購買	全二二年 七月十八日
保証責任	野原信用販賣購買生産組 合	度會郡七保村 大字野原	一四三	一、九〇	蠶具、肥料購買、製簇器設備 使用	明治卅四年 十月七日

有限責任	小方電信用購買販賣組合	度會郡島津村 大字小方電	二六	五〇三	事業ノ一部トシテ 蠶業資金貸付、木炭、消毒藥 品、粟糠、肥料購買	大正二年 一月八日
無限責任	玉瀧信用購買販賣組合	阿山郡玉瀧村	五五	三〇、二五七	蠶業資金貸付、桑苗、蠶種、肥 料購買、生繭販賣	明治四十一年 九月一日
有限責任	輛田購買販賣組合	阿山郡輛田村	五〇〇	二、九四三	蠶具、桑苗、肥料購買、生繭 販賣	全三十七年 十二月卅日
有限責任	猿野信用購買販賣組合	阿山郡阿波村 大字猿野	六二	二、二九四	蠶業資金貸付、消毒藥品、肥 料購買	全四十五年 一月廿二日
有限責任	木興信用購買販賣組合	阿山郡城南村 大字上野	六〇	一、〇〇〇	桑苗、木炭、肥料購買	全 四月六日
無限責任	守田信用購買組合	阿山郡城南村 大字淺宇田	二四	三六〇	蠶種肥料購買	全四十二年 七月十一日
有限責任	小田信用購買販賣生產組 合	阿山郡小田村	一五三	二、〇〇〇	蠶業資金貸付、消毒藥品、木炭 肥料購買、乾繭器、噴霧器、蠟 炬設備使用生繭販賣	全四十二年 六月八日
有限責任	三田信用購買販賣組合	阿山郡三田村 大字三田	一三四	四五九	生繭販賣	大正二年 三月三日
有限責任	東柘植信用購買販賣組合	阿山郡東柘植 村	五九五	六六	蠶具、肥料購買、生繭販賣	明治四十五年 五月七日
有限責任	野間信用生產購買販賣組 合	阿山郡三田村 大字野間	五三	六五	生絲生產販賣	全四十五年 二月廿八日

有限責任	花ノ木信用購買販賣組合	阿山郡花ノ木 村	一〇六	六六九	事業ノ一部トシテ 蠶業資金貸付、蠶具、粟糠、肥 料購買	大正二年 十二月十日
無限責任	朝屋信用購買組合	阿山郡長田村 大字朝屋	四六	六二〇	蠶業資金貸付、肥料購買	明治四十二年 七月九日
有限責任	比曾河内信用購買販賣組 合	阿山郡丸柱村 大字比曾河内	一九二	二、〇六七	蠶業資金貸付、肥料購買	全四十五年 三月廿八日
有限責任	西柘植信用販賣購買組合	阿山郡西柘植 村	四二	一、四四五	蠶業資金貸付、肥料、木炭、購 買	全四十四年 五月一日
有限責任	壬生野信用販賣購買組合	阿山郡壬生野 村	三九二	二、六七七	蠶業資金貸付、肥料購買	全四十五年 二月十日
有限責任	依那具信用購買販賣組合	名賀郡依那古 村大字依那具	九六	一、〇七五	蠶業資金貸付	全四十五年 五月十三日
有限責任	治田信用購買販賣組合	名賀郡花垣村 大字治田	一四八	三、三五四	蠶業資金貸付、蠶具、肥料、木 炭購買	全四十二年 四月二十日
有限責任	藏持東部信用購買組合	名賀郡藏持村 ノ内	一七四	四、四八〇	蠶業資金貸付	全四十四年 二月十七日
有限責任	子野信用購買組合	名賀郡花垣村 大字子野	一六七	二、四〇二	蠶具、桑苗、肥料購買	全四十四年 九月十六日
有限責任	白樫信用購買組合	名賀郡花垣村 大字白樫	一〇二	二、二九五	蠶業資金貸付、蠶種、蠶具、木 炭、粟糠、消毒藥品、肥料購買、 生繭販賣	全四十二年 五月十七日

年	次組合數	組合員數	經費總額	事業種目
明治三十九年	一三六	二、〇六一	九、〇一五	事業ノ一部トシテ 木炭、粟糠、肥料購買
全 四十年	二五九	四、九三三	二一、七六五	全
全 四十一年	三六三	六、八三三	三七、七三三	全
全 四十二年	五一	七、八五〇	二四、八五三	全
全 四十三年	五五九	九、六三三	二八、四五三	全
全 四十四年	六八三	一一、二九二	三二、四六一	全
全 四十五年	五九〇	一四、〇九七	三三、三〇四	全
大正元年	五三三	一三、四七二	三〇、七七一	全
全 二年	五二九	一〇、九八二	二五、七〇九	全
全 三年	四八一	一三、三〇一	三〇、〇九八	全
全 四年	三五四	六四五	三四	全

(口) 小 組 合

茲ニ小組合ト稱スル養蠶組合及之ニ類似セル法規ニ依ラサル組合ノ謂ニシテ既往十箇年ニ於ケル組合數并組合員數ヲ舉クレハ左ノ如シ

責任	組合名	組合員數	經費總額	事業種目	年
有限責任	猪田信用購買組合	名賀郡猪田村 大字猪田	二二	三、五二五	明治三十二年 三月十六日
有限責任	小波田信用購買組合	名賀郡美濃波多村 大字小波田	一〇六	二、七四〇	全 四十四年 九月三十日
有限責任	藏持村西部信用購買組合	名賀郡藏持村 大字大屋	二八	二、〇〇一	全 四十四年 二月十七日
有限責任	下之郷信用購買販賣組合	志摩郡磯部村 大字下ノ郷	一三〇	一、七六二	全 三十八年 三月十八日
有限責任	甲賀信用購買販賣組合	志摩郡甲賀村	九五	四三	大正二年 一月廿七日
無限責任	和田購買販賣組合	南牟婁郡五郷村 大字和田	五	一、二四六	全 三月四日

年	次組合數	組合員數	經費總額	事業種目
明治三十九年	一三六	二、〇六一	九、〇一五	蠶種及蠶業用品共同蠶入
全 四十年	二五九	四、九三三	二一、七六五	蠶業用具共同設備
全 四十一年	三六三	六、八三三	三七、七三三	蠶病消毒共同施行
全 四十二年	五一	七、八五〇	二四、八五三	稚蠶共同飼育
全 四十三年	五五九	九、六三三	二八、四五三	生繭共同販賣
全 四十四年	六八三	一一、二九二	三二、四六一	共同桑園設置
全 四十五年	五九〇	一四、〇九七	三三、三〇四	組合員相互救済
大正元年	五三三	一三、四七二	三〇、七七一	其ノ他蠶業上ノ施設
全 二年	五二九	一〇、九八二	二五、七〇九	
全 三年	四八一	一三、三〇一	三〇、〇九八	
全 四年	三五四	六四五	三四	

蠶絲業ニ關スル共同經營ハ明治二十年頃二三ノ當業者相倚リ僅ニ蠶種ノ共同催青ヲ爲シタルニ其ノ端緒ヲ開キ明治二十九年或ル一部村落ニ於テ養蠶組合ヲ設ケ教師ヲ聘シ稚蠶共同飼育ヲ爲シ品種統一ヲ圖ルノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シ之カ實費配付ヲ行ヒ茲ニ初メテ共同組合ナルモノ、存在ヲ認ムルヲ得

タリ爾來郡ニ於テハ補助金ヲ交付シ之カ獎勵ニ努ムルモノ多ク以テ今日ノ發達ヲ見ルニ至リ蠶業發達
上尠ナカラサル効果ヲ奏シ、アリト認ム

七〇

大正五年一月十日印刷
大正五年一月十三日發行

三重縣內務部蠶絲課

印刷者

三重縣津市丸之内二番地

加藤三四郎

印刷所

三重縣津市丸之内四番地

伊勢新聞社活版部

1424
1574

終

